

平成 22 年 度

山形県の社会教育 2010

山 形 県 教 育 委 員 会

目 次

1	平成 22 年度 社会教育・生涯学習振興の推進にあたって	2
2	平成 22 年度 社会教育・生涯学習施策体系	3
3	平成 22 年度 社会教育・生涯学習関係 年間予定一覧	4
4	平成 22 年度 社会教育関係 事業計画	
	(1) いのちの教育の基礎となる家庭教育と幼児期の教育を支援する	
	① 家庭教育の支援の充実	6
	② 幼児共育の推進	7
	(2) かかわりの中で子ども・大人の社会力を高める	
	① 青少年の体験活動の充実と地域の教育力の向上	7
	② 青年の交流推進	11
	(3) かかわりの機会を充実するための環境をつくる	
	① 社会教育推進体制の充実	12
	② 社会教育施設の整備・充実	14
	(4) 山形県立図書館	16
	(5) 山形県立博物館	18
	(6) 山形県青年の家	20
	(7) 山形県朝日少年自然の家	22
	(8) 山形県金峰少年自然の家	24
	(9) 山形県飯豊少年自然の家	26
	(10) 山形県神室少年自然の家	28
5	山形県生涯学習センター事業計画	30
6	山形県社会教育委員名簿	32
7	統計資料等	
	(1) 社会教育関係団体一覧	33
	(2) 青少年教育施設一覧	34
	(3) 視聴覚センター・ライブラリー一覧	34
	(4) 図書館一覧	36
	(5) 博物館一覧	37
	(6) 各市町村社会教育主管課一覧	38
	(7) 社会教育委員等設置状況一覧	39
	(8) 社会教育関係団体等一覧	40
	(9) 社会教育施設等一覧	41
	(10) 生涯学習推進・学社連携組織等一覧	42
8	文部科学大臣表彰一覧	44

1 平成22年度社会教育・生涯学習振興行政の推進にあたって

山形県の教育目標（第5次山形県教育振興計画）

知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成

主体的に考え判断する知力を持ち、人と協調し、思いやる優しい心を持ち、健康でたくましい体力をもつ人間
自らの「生命」が、キラキラと輝くような「生き方」をし、同時に他の人の「生命」と「生き方」をも尊重する人間

テーマ 山形の教育 「いのち」そして「まなび」と「かかわり」

- 基本方針
- 1 「いのち」を大切にし、豊かな心と健やかな体を育てる
 - 2 「まなび」を通して、自立をめざす
 - 3 広い「かかわり」の中で、社会をつくる
 - 4 学校と地域を元気にする

平成22年度の社会教育・生涯学習振興行政の推進にあたっては、第5次山形県教育振興計画に掲げた教育目標を達成するため、家庭、学校、地域の連携を推進し、「いのち」を大切にする心と人格形成の基礎を育む家庭教育の支援や幼児期の教育の充実をめざるとともに、青少年の体験活動の充実と地域の教育力の向上を図り、子どもの社会力の育成に努めます。また、個人の要望と社会の要請にこたえる社会教育・生涯学習振興のための環境整備にも努めます。

施策の推進にあたっては、コミュニケーションを核にして心の通い合う教育を推進する「やまがた教育コミュニケーション改革」の理念に基づいて、充実を図っていきます。

重点施策

1 **いのちの教育の基礎となる家庭教育と幼児期の教育を支援する**

すべての教育の原点である家庭教育については、家庭の教育力向上のために、すべての親への学習機会や情報提供等により、身近な地域における家庭教育支援の基礎作りに努めます。

また、家庭、幼稚園・保育所等、地域のすべての大人が連携して幼児期の子どもにかかわりながら、ともに育む「幼児共育」を推進するために、幼児共育アクションプログラムに基づく実践活動を広く展開することにより、幼児期の教育の充実をめざします。

- (1) 家庭教育支援の充実
- (2) 幼児共育の推進

2 **かかわりの中で子ども・大人の社会力を高める**

家庭、学校、地域が連携し、子どもたちが地域の人々とかかわる機会や体験活動の場を充実させ、子どもたちの社会力を育成するとともに、大人自身の社会力の向上や地域の教育力の向上をめざしていきます。

また、青年が集い交流する場を設定することにより、他者とかわる力や青年リーダーの育成に努めます。

- (1) 青少年の体験活動の充実と地域とのかかわりの創出
- (2) 青年の交流推進

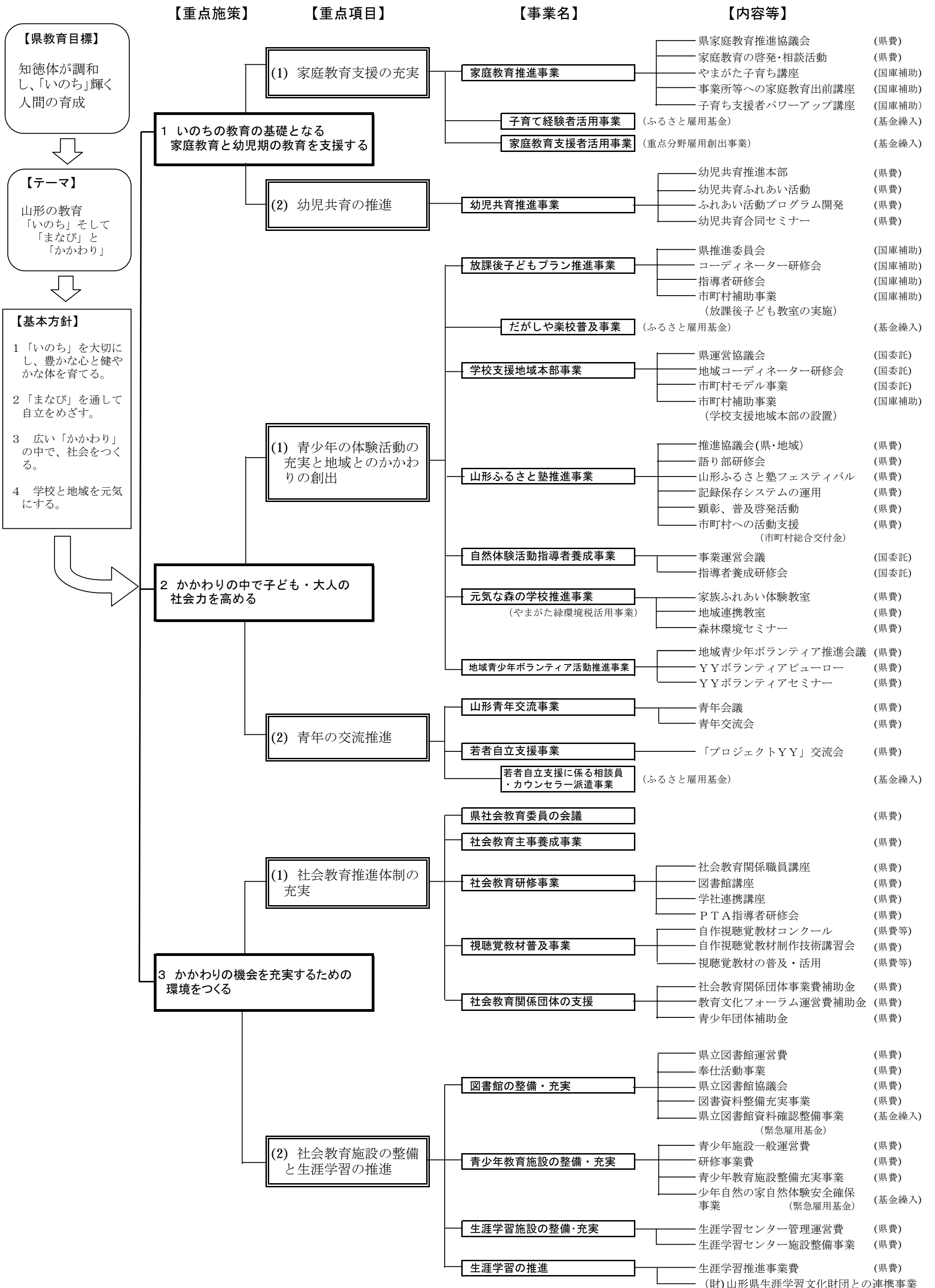
3 **かかわりの機会を充実するための環境をつくる**

社会教育を充実させるため、社会教育行政にかかわる職員の指導力の向上、推進体制の充実、社会教育関係団体の支援を図るとともに、教育事務所と連携して市町村の社会教育行政をよりきめ細やかに支援していきます。

また、社会教育施設が、個人の要望や社会の要請にこたえる魅力ある生涯学習の拠点施設として機能するよう整備・充実に努めます。

- (1) 社会教育推進体制の充実
- (2) 社会教育施設の整備と生涯学習の推進

2 平成22年度 社会教育・生涯学習振興 施策体系



3 平成22年度 県社会教育関係事業 年間計画

平成22年6月現在

日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	日
1	木	土	火	木	日	水	1
2	金	日	水	金	月	木	2
3	土	月	木	土	火	金	3
4	日	火	金	日	水	土	4
5	月	水	土	月	木	日	5
6	火	木	日	火	金	月	6
7	水	金	月	水	土	火	7
8	木	土	火	木	日	水	8
9	金	日	水	金	月	木	9
10	土	月	木	土	火	金	10
11	日	火	金	日	水	土	11
12	月	水	土	月	木	日	12
13	火	木	日	火	金	月	13
14	水	金	月	水	土	火	14
15	木	土	火	木	日	水	15
16	金	日	水	金	月	木	16
17	土	月	木	土	火	金	17
18	日	火	金	日	水	土	18
19	月	水	土	月	木	日	19
20	火	木	日	火	金	月	20
21	水	金	月	水	土	火	21
22	木	土	火	木	日	水	22
23	金	日	水	金	月	木	23
24	土	月	木	土	火	金	24
25	日	火	金	日	水	土	25
26	月	水	土	月	木	日	26
27	火	木	日	火	金	月	27
28	水	金	月	水	土	火	28
29	木	土	火	木	日	水	29
30	金	日	水	金	月	木	30
31	月	月	土	土	火	土	31

日	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日
1	金 放課後子どもプラン コーディネーター研修会②	月	水	土 元日	火 自然体験活動指導者養成 事業運営会議② 県社教連理事会②	火	1
2	土 県婦人連盟県大会 (遊学館)	火	木	日	水	水	2
3	日	水 文化の日	金 県自作視聴覚教材 コンクール打合せ	月	木	木	3
4	月	木	土	火	金 教育事務所社会教育課長 会議③	金 県ボランティア推進会議②	4
5	火	金	日	水	土 県青年会議②	土	5
6	水	土	月	木	日	日	6
7	木	日 山形ふるさと塾 フェスティバル(真室川町)	火	金	月	月	7
8	金 県家庭教育推進協議会②	月	水	土	火	火	8
9	土	火	木	日	水 幼児共育推進本部会議②	水	9
10	日	水	金	月 成人の日	木 学校支援地域本部 運営協議会②	木	10
11	月 体育の日	木	土 置賜地区自作視聴覚 教材コンクール・映像祭	火	金 建国記念の日	金	11
12	火	金 PTA合同教育懇談会 青年交流会(県青)	日	水	土	土	12
13	水	土 自然体験活動指導者 養成研修会(神室②)	月	木	日	日	13
14	木 放課後子どもプラン 推進委員会② 県特支PTA連研修大会	日	火	金	月	月	14
15	金	月	水	土 県自作視聴覚教材コンク ール・映像祭	火 県社会教育委員の会議 (第163回)	火	15
16	土 県PTA研修大会(山形市) YYボランティアフェス ティバル(県青)	火	木	日	水 社会教育施設長会議③	水	16
17	日	水 東南村山・西村山地区 自作視聴覚教材発表会	金	月	木	木	17
18	月	木	土	火	金 教育事務所社会教育主事 会議④	金	18
19	火 村山地区放課後子ども プラン指導者研修会②	金 幼児共育合同セミナー 自然体験活動指導者養成 研修会(金峰②)	日	水	土	土	19
20	水 社会教育施設長会議②	土	月	木	日	日	20
21	木	日	火	金	月	月 春分の日	21
22	金 県社会教育研究大会 (上市市)	月	水	土 自然体験活動指導者養成 研修会(飯豊②)	火 青少年教育施設研修担当 者会議③	火	22
23	土 自然体験活動指導者養成 研修会(朝日②)	火 勤労感謝の日	木 天皇誕生日	日	水 放課後子どもプラン 推進委員会③	水	23
24	日	水	金	月	木	木	24
25	月	木	土	火	金 県家庭教育推進協議会③	金	25
26	火 青少年教育施設研修担当 者会議②	金	日	水	土	土	26
27	水	土	月	木 置賜地区・庄内地区 放課後子どもプラン 指導者研修会②	日	日	27
28	木	日	火	金 最上地区放課後子ども プラン指導者研修会②	月	月	28
29	金	月	水	土		火	29
30	土	火 最上地区・庄内地区 自作視聴覚教材コンクール 審査会・発表会	木	日		水	30
31	日		金	月		木	31

4 平成 22 年度 社会教育関係 事業計画

(1) いのちの教育の基礎となる家庭教育と幼児期の教育を支援する

① 家庭教育支援の充実

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点である。しかしながら、少子化や核家族化、地縁的な人間関係の希薄化等、家庭を取り巻く環境の変化に伴い、子育てに不安を持つ親が増加し、家庭教育力の低下が指摘されている。

こうした今日的な家庭教育の課題に対応できるように、家庭教育に関する学習機会や個別の相談機会を充実させるとともに、家庭教育の支援者を養成しネットワークの形成を図る等、社会全体で家庭における教育を支援していくことが求められている。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>家庭教育推進事業</p> <p>◇11年度開始、 16年度組替 22年度事業統合</p> <p>(県費)</p> <p>(国補助1/3、 県・市町村1/3) (国補助1/3)</p>	<p>●目的</p> <p>都市化、核家族化、地域での地縁的つながりの希薄化等による家庭の教育力の低下の指摘に加え、急速に進む少子化や、児童虐待の増加といった深刻かつ喫緊の社会的課題への対応として、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。</p> <p>本県では、地域で支え合う家庭教育支援の推進を図るため、県と地域(市町村)の役割を明確にした家庭教育支援の総合的な展開を進める。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県家庭教育推進協議会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・県協議会委員(11名予定) ・年間3回開催(予定) ・家庭教育アドバイザーの委嘱 2 家庭教育の啓発・相談活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」継続実施 (2) 家庭教育リーフレット等による情報提供 3 やまがた子育て講座(小学校等:162箇所) <ul style="list-style-type: none"> ・内容:家庭教育に関する講話や座談会など 4 事業所等への家庭教育出前講座(県内14箇所) <ul style="list-style-type: none"> ・内容:家庭教育に関する講演や情報提供など 5 子育て支援者パワーアップ講座(各地区2回) <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援者の資質向上を図る研修など 	<p>生涯学習振興課</p> <p>生涯学習振興課</p> <p>市町村</p> <p>教育事務所</p> <p>教育事務所</p>
<p>子育て経験者活用事業</p> <p>◇21年度開始</p> <p>・ふるさと雇用再生特別基金事業</p>	<p>●目的</p> <p>子育て経験者による育児中の親へのアドバイスや子育てに関する情報提供等の支援を行い、家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県内4地区の拠点となる育児サークルにおいて、新規に3名の子育てアドバイザーを雇用し、地域内の育児サークル等の民間団体が主催する子育て研修会に講師等として派遣する。(3名×4地区=12名) 2 拠点となる育児サークルにおいて、当該アドバイザーが、来所した親に対する個別相談及び託児業務の補助を実施する。 	<p>子育て支援NPO</p>

<p>家庭教育支援者 活用事業</p> <p>◇22年度新規</p> <p>・重点分野雇用創出事業</p>	<p>●目的 地域におけるきめ細やかな家庭教育支援を行うために、家庭教育支援者による支援チームを組織し、不安や悩みを抱える家庭や学校等での相談、情報提供等を行うことで、地域で支える新たな支援体制作りを推進する。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の拠点となる子育て支援団体が、家庭教育支援者を雇用し、拠点となるサークルや地域の施設等を訪問することによる相談対応等によって、支援を求めている親・支援を必要としている親に対して、家庭訪問等による相談・支援を行う。 2 学校等の要請等により、講座を開催したり困難を抱える親から相談を受けたりしながら、家庭教育に関わる支援活動を行う。 	<p>子育て支援NPO</p>
---	---	-----------------

② 幼児^{ともい}共育の推進

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期である。本県では、幼児期の子どもを、家庭、幼稚園・保育所等・地域の三者が連携して共に育むことをめざす「幼児共育」を推進し、これまでの成果や課題をふまえた具体的な行動指針として「山形県幼児共育アクションプログラム」を策定した。この実践を通して幼児期の教育を充実させるとともに、「幼児共育」の理念を広く県民運動として定着させていく必要がある。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>幼児共育推進事業</p> <p>◇17年度開始 22年度事業統合</p> <p>(県費)</p>	<p>●目的 人格形成の基礎を培う上できわめて重要な時期である幼児期において、「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携しながら共に育む幼児共育を実践し、ふれあいを通じた様々なかかわりの中で、幼児期の子どもを支える地域の教育力の向上を図る。さらに、『幼児共育』の実践拡大とともに、県民運動へつなげるための普及・啓発を推進する。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県幼児共育推進本部の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・県協議会委員 (14名予定) ・年間3回開催 (予定) ・幼児共育リーフレットの配付 2 幼児共育ふれあい活動の開催 (委託事業) <ul style="list-style-type: none"> (1)生涯学習施設「里仁館」・・・年間20回程度 (2)庄内を除く県内のNPO等・・・年間5回程度 3 ふれあいプログラム開発 (4地区) <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な実践プログラムの開発 4 幼児共育合同セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演、グループセッション等 	<p>生涯学習振興課</p> <p>里仁館 (庄内) NPO等4団体</p> <p>教育事務所</p> <p>生涯学習振興課</p>

(2) かかわりの中で子ども・大人の社会力を高める

① 青少年の体験活動の充実と地域とのかかわりの創出

子どもの「社会力」(人と人がつながり、社会をつくり、つくった社会を運用していく意欲や能力)を育むためには、ボランティア活動等の社会体験や、自然体験、文化体験、生活体験といった様々な体験活動の中で、多くの人々との「かかわり」を持つことが大切である。ことに、地域におけるすべての子どもたちの安全で健全な居場所の確保や、山形の文化や自然を大切にする心情の育成、といった緊急かつ重要な課題については、それぞれの課題に応じた体験活動の場の充実を図る社会教育からのアプ

ローチが急務といえる。

また、これらの体験活動を学校・家庭・地域のそれぞれの教育機能を生かしながら拡充するためには、三者相互の連携・協力に加え、地域で子どもを育て学校を支援する体制づくりも必要である。こうした地域の中で、子どもと大人、子ども同士、大人同士の「かかわり」が生まれ、子どもはもちろん、大人自身の社会力が育まれ、地域の教育力の再生につながるものといえる。

一方、本県では、地域単位の青少年ボランティアサークルの活動が盛んであり「山形方式」と呼ばれている。こうした青少年の主体的なボランティア活動は、参加者自身の社会力の向上につながるとともに、子どもたちの多様な学校外活動の充実に資するなど、重要な教育資源として位置づけることができる。山形方式の地域青少年ボランティア活動を地域住民全体の取組に広げ、子ども主体の理想的な地域のしくみづくりを目指していく。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>放課後子ども プラン推進事業</p> <p>◇19年度開始</p> <p>(国補助1/3)</p> <p>(国補助1/3、 県・市町村1/3)</p>	<p>●目的 放課後や学校外活動における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、地域の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県推進委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体である市町村での円滑な事業実施のため、年3回開催し、協力体制を構築 2 コーディネーター研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村が設置するコーディネーターの資質向上や相互の情報交換を図るために年2回実施 3 指導者研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「放課後子ども教室」及び「放課後児童クラブ」における指導者や教員等を対象に、4地区ごとに年2回の実施 4 市町村補助事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 運営委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村「放課後子どもプラン」の策定や、各小学校区における両事業の充実及び連携の方策等について協議 (2) コーディネーターの配置 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の総合的な調整役、特に学校と両事業の連携推進役として配置 (3) 「放課後子ども教室」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもを対象とし、地域の方々の参画を得ながら地域の実情に応じて実施する学習活動や体験活動の場 (4) 「放課後児童クラブ」の実施（※子育て支援課主管） <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が昼間いない概ね小学1～3年生の児童の生活の場 	<p>生涯学習振興課</p> <p>生涯学習振興課</p> <p>教育事務所</p> <p>市町村</p>
<p>だがしや楽校 普及事業</p> <p>◇21年度開始</p> <p>・公募型雇用創出事業</p>	<p>●目的 休日や放課後に家の中だけで過ごす子どもが増え、地域社会の中でも近所づきあいが減っている中で、「だがしや楽校」の普及啓発を図ることにより、県内各地域のコミュニティーを再生し、子どもと大人の社会力を高める。</p> <p>●内容 【委託する業務内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県内の市町村公民館、学校、商店街等に出向き、「だがしや楽校」の普及啓発・実践活動を行う。 2 「だがしや楽校」の実践団体・実践者を養成する。 3 県内及び全国の「だがしや楽校」の関係団体、研究者・実践者のネットワークを構築する。 	<p>NPO</p>

<p>学校支援地域 本部事業</p> <p>◇20年度開始</p> <p>(国委託 10/10)</p> <p>(国委託 10/10)</p> <p>(国補助 1/3、 県・市町村 1/3)</p>	<p>●目的 地域住民の積極的なボランティア活動を通じて、学校と地域の一層の連携体制を構築する「学校支援地域本部」の設置を推進し、子どもと住民とのかかわりを深めるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県運営協議会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域における地域と学校の連携や、学校支援ボランティアについての協議、モデル事業と補助事業充実のための指導・助言等の実施 2 地域コーディネーター研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターの資質向上及び教育委員会、学校関係者への事業周知を図り、学社連携を推進するために実施 3 市町村モデル事業・補助事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実行委員会の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村全体における事業の企画・立案及び成果の普及・評価ボランティアの研修などを実施 (2) 学校支援地域本部の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援について協議する「地域教育協議会」の開催 ・学校と地域のボランティアをつなぐ地域コーディネーターの配置 ・学校支援ボランティア活動の実施 	<p>生涯学習振興課</p> <p>教育事務所</p> <p>市町村</p>
<p>山形ふるさと塾 推進事業</p> <p>◇17年度開始 (文化環境部)、 19年度より 教育委員会移管 22年度事業統合</p> <p>(市町村総合交付金)</p> <p>(県費)</p>	<p>●目的 子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などの素晴らしい地域文化を教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進していく。 (賛同団体数=21年度：253団体→22年度目標：260団体)</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市町村への活動支援 市町村総合交付金による地域文化継承のための基盤づくりへの助成に加え、合併市町村が旧市町村間の交流・連携を意識した取組等への支援を図る。 2 記録保存システムの運用 (財)県生涯学習文化財団との連携により、山形ふるさと塾アーカイブスのコンテンツの充実を図る。 3 推進協議会（県・地域）の設置 4 語り部（指導者）の育成 地域文化の伝承に携わっている方々を対象として研修会を開催し、人的ネットワークの形成を図る。 5 顕彰制度 リーディングケースとなる団体を顕彰し、その活動について事例発表等により広く発信する。 6 子どもたちの発表機会 山形ふるさと塾フェスティバルを開催する。 7 普及・啓発 山形ふるさと塾だより（年2回）を発行し、子どもたちに文化を継承する活動を、広く県民に紹介しながら、活動の広がりを目指す。 	<p>市町村</p> <p>生涯学習振興課</p> <p>生涯学習振興課 教育事務所</p> <p>実行委員会</p> <p>実行委員会</p> <p>生涯学習振興課</p>

<p>自然体験活動 指導者養成事業</p> <p>◇20年度開始 22年度事業名変更 (国委託 10/10)</p>	<p>●目的 多様な体験活動をとおして子どもの社会力を育むため、小学校等における自然体験活動を実施するための指導者の養成を行う。</p> <p>●内容 〈自然体験指導者研修会の開催〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目的：長期自然体験活動の中心となる指導者の養成 2 内容：講義、実技、演習などによる自然体験活動の研修 3 対象：学校教員、社会教育関係者、その他自然体験活動に興味のある者 4 会場：4少年自然の家 5 日程：各会場とも1泊2日×2回 	<p>4少年自然の家</p>
<p>元気な森の学校 推進事業</p> <p>◇19年度開始</p> <p>(県費) ・やまがた緑環境税 活用事業</p>	<p>●目的 すべての県民、特に次世代を担う子どもたちに、身近な森林等の自然環境の重要性を認識させ、保全していく心情を育成するため、少年自然の家において、森林や自然環境に関する体験学習機会の充実を図る。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家族ふれあい体験教室 身近な里山等を活用した親子対象の体験プログラムの実施 2 地域連携教室 地域の方々や学校と連携した子ども対象の体験教室の実施 3 森林環境セミナー 森林や自然環境の保全をテーマに、指導者や地域の方々を対象としたセミナーの実施 	<p>4少年自然の家 金峰・飯豊・神室 少年自然の家 朝日・金峰 少年自然の家</p>
<p>地域青少年 ボランティア活動 推進事業</p> <p>◇17年度開始 22年度事業変更</p> <p>(県費)</p>	<p>●目的 「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進を図り、地域青少年ボランティア活動支援センターを設置し、県民に広く情報を提供するとともに、支援体制の整備および研修・交流の機会を拡充しながら、人とのつながりの中で青少年の社会力の向上を目指す。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中央センター事業 (1) 山形県地域青少年ボランティア推進会議の開催 (2) Y Yボランティアビューローの設置 年間を通じ、各種研修・交流会・イベント等の案内、各サークルの紹介や活動状況などの情報を広く発信。青少年を対象にボランティア活動希望者と受入団体・機関をコーディネート。8月7日(土)・8日(日)をY Yボランティアの日と設定し、この日を中心としたキャンペーンを実施。 (3) Y Yボランティア・フェスティバル 10月16日(土)～17日(日)に県内の地域青少年ボランティアが一堂に集い、主体的な企画・実践活動・交流を行う。 2 地区センター事業 (1) 地区地域青少年ボランティア推進会議の開催 (2) 地区Y Yボランティアセミナーの実施 ボランティア活動に興味関心をもつ中・高校生を対象に、2泊3日の日程で、参加者の主体的な計画立案と実践活動を中心としたセミナーを実施 	<p>青年の家 青年の家 教育事務所</p>

② 青年の交流推進

かつて青年層の活動を担っていた地縁的な集団である青年団はほぼ姿を消しているが、近年、地域づくりを目的とした青年サークルやボランティア OB による活動が芽生えつつある。しかし、いずれも個々の活動にとどまっている状況であり、こうした青年をつなぐ、ゆるやかなネットワークの形成や全県的な交流の場の創出が望まれる。

また、人とかかわりを避け、ひきこもり状態にある青年の増加という新たな課題も生まれている。それらの青年を対象とした交流機会の設定や相談体制の充実等により、社会参加を支援し他者とかがわる力の向上を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
山形青年交流事業 ◇21年度新規 〈6月補正〉 (県費)	●目的 地域をリードする青年の育成に向け、青年自らが企画・運営し、多くの青年が集い、学び合う青年交流会を開催し、地域を越えた県内青年のネットワーク形成や社会力の向上を図る。 ●内容 (1) 青年会議 県内の青年サークルやNPOの代表等約 15 名で編成し、有識者の助言・指導を受けながら、青年交流会の基本構想、テーマ・課題の設定、事業後の検証を実施 (2) 青年交流会 青年サークルやNPO等で活動する県内の青年約 40 名で編成する企画運営委員会に委託 【委託する業務内容】 ①青年会議からの提案実現に向けた活動及び研修 ②県内各地での地域理解・貢献等の活動及び研修 ③全県的な交流および研修を有識者の助言・指導を受けながら、企画・実践	青年の家 青年の家
若者自立支援事業 ◇18年度開始 (県費)	●目的 社会教育の機能を生かした全県的な交流事業を行い、ひきこもり青年に他者とかがわる機会を提供し、社会参加に向けた後押しを行う。 ●内容 〈プロジェクトYY交流会の開催〉 生活体験や自然体験をとおして、ひきこもり青年に同じ世代の若者との交流機会を提供するとともに、居場所に通いながら社会参加が進んだ青年等で編成する実行委員会の企画・運営による、1泊2日の「プロジェクトYY交流会」を年2回実施する。 (1) 主管 山形県青年の家 (2) 場所 県内の青少年教育施設 (3) 対象 県内の社会的ひきこもり青年と支援者を含む約 30 名	青年の家
若者自立支援に係る相談員・カウンセラー派遣事業 ◇21年度開始 ・ふるさと雇用再生特別基金事業	●目的 他者とかがわりをもつことが苦手なひきこもり青年等が家庭からNPO等が運営する若者の居場所等に通所できるよう支援を行い、これら青年等の社会参加を促す。 ●内容 不登校・ひきこもりを支援するNPO法人等に委託 【委託する業務内容】 不登校や社会的ひきこもり青年等の社会参加を支援するため、新たな相談員等を雇用し、以下の①から④について実施	ひきこもり青年 支援NPO

<p>社会教育研修事業</p> <p>◇S57年度開始</p> <p>(一部県費)</p>	<p>●目的 市町村教育委員会等の社会教育関係職員や教員、PTA指導者等を対象とした領域的・体系的な研修を実施し、それぞれの資質の向上を図るとともに、地域と学校の連携・協働の体制づくりを推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 社会教育関係職員講座 (社会教育関係職員パワーアップセミナー)</p> <p>(1) 期日：6月2日(水)～4日(金)</p> <p>(2) 場所：山形県生涯学習センター(遊学館)</p> <p>(3) 対象：市町村教育委員会社会教育関係職員、公民館関係職員等</p> <p>(4) 内容：学社連携に関わる講義や事例研修、社会教育事業の実践事例に基づいたワークショップ等</p> <p>2 学社連携講座</p> <p>(1) 期日：6月2日(水) ※社教職員講座と合同で実施</p> <p>(2) 場所：山形県生涯学習センター(遊学館)</p> <p>(3) 対象：小中高・特別支援学校教員等</p> <p>(4) 内容：学社連携に関わる講義や事例研修等</p> <p>3 図書館講座</p> <p>(1) 期日：7月1日(木)、7月9日(金)〈各1日〉</p> <p>(2) 場所：山形県生涯学習センター、県立図書館</p> <p>(3) 対象：公立図書館(室)職員、学校図書館関係教職員等</p> <p>(4) 内容：図書館職員としての実務研修、「子どもの読書活動推進」等に関わる理論研修</p> <p>4 PTA指導者研修会</p> <p>(1) 期日：7月3日(土)</p> <p>(2) 場所：山形県生涯学習センター(遊学館)</p> <p>(3) 対象：小中高・特別支援各学校PTA指導者等150名</p> <p>(4) 内容：全体講義、PTA活動の課題に関わる分科会等</p> <p>※その他のPTA関係事業</p> <p>① 優良PTA表彰事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会表彰選考委員会(5月) ・優良PTA文部科学大臣表彰の推薦(6月) <p>② PTA研修資料作成</p> <p>「これからのPTA No.40」の編集及び発行</p>	<p>生涯学習振興課 県生涯学習 文化財団</p> <p>生涯学習振興課 県生涯学習 文化財団</p> <p>生涯学習振興課 県立図書館</p> <p>生涯学習振興課</p>
<p>視聴覚教材普及事業</p> <p>◇21年度開始</p> <p>(一部県費)</p>	<p>●目的 学習ニーズの多様化への対応、郷土学習における教材を整備する必要性から、視聴覚教材の自作化を奨励するとともに、視聴覚教材の普及・啓発を図る。</p> <p>●内容</p> <p>1 県自作視聴覚教材コンクール 学校教育部門・社会教育部門・児童生徒作品部門 スライド、ビデオ、紙しばい、コンピュータソフト、TP等 〈中央審査会・表彰式・映像祭〉</p> <p>・期日：1月15日(土) (予定) ・会場：遊学館</p>	<p>生涯学習振興課 県視聴覚ライブ ラリー協議会</p>

	<p>2 県自作視聴覚教材制作技術講習会 ビデオ部門・紙しばい部門（計5回、ビデオ部門は3回） ・7月28日（水）、8月4日（水）、8月11日（水）、 8月18日（水）、8月25日（水）（予定）</p> <p>3 優秀教材複製及び山形ふるさと塾アーカイブスへの掲載</p>	<p>県視聴覚ライブ ラリー協議会</p> <p>生涯学習振興課</p>
<p>社会教育関係団体の支援</p> <p>◇S47年度開始 (県費)</p>	<p>●目的 社会教育関係団体等の健全な運営と活動の活性化を図る。</p> <p>●内容 事業費補助金の交付</p> <p>◇補助金名、対象団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県社会教育連絡協議会事業費補助金： 山形県社会教育連絡協議会 ・婦人団体事業費補助金：山形県婦人連盟 ・PTA 連合会事業費補助金：山形県 PTA 連合会 山形県高等学校 PTA 連合会 山形県特別支援学校 PTA 連合会 ・ボーイスカウト事業費補助金：ボーイスカウト山形県連盟 	<p>社会教育関係団体</p> <p>青少年教育団体</p>

② 社会教育施設の整備・充実

本県の社会教育施設としては、青少年教育施設5施設及び図書館、博物館がある。県民の多様なニーズにこたえる魅力ある施設となるよう、それぞれの特性を生かしながら、人、自然、文化、社会とのかかわりにつながる体験活動やその機会づくり等が推進されるように努める。

一方、本県の生涯学習については、第3次山形県生涯学習振興計画に基づき、「県民主体の学習の推進」、「乳幼児教育・学校教育の重視」及び「参加力・交流力・創造力の向上」を重要な課題と位置づけ、県・市町村・高等教育機関・NPO・民間教育事業者等の生涯学習関係機関が、それぞれの特質を活かし、連携・協力しながら推進していく。また、山形県生涯学習センターについては、生涯学習振興の拠点施設として、適切かつ効率的な管理運営を行い、その機能を維持するために必要な施設整備を行うとともに、財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、県民の生涯学習にわたる学習活動を総合的に支援し、地域の活性化を担う人材の育成及び県民の文化の振興を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>県立図書館の 整備・充実</p> <p>・緊急雇用創出事業 臨時特例基金事業</p>	<p>●目的 県民の高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応するため、県民の学習活動の基幹施設である県立図書館の基本的機能が発揮できるよう、郷土資料を中心として、図書館資料の収集・整備・保存に努める。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図書資料の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・一般図書 ・雑誌 ・県人文庫等地域資料 2 視聴覚資料の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオテープ、DVD、CD等 ・新聞記事データベース 3 100周年記念事業の実施 4 県立図書館資料確認整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・資料及び検索情報の整理・拡充と、郷土資料のレファレンス機能の強化 	<p>県立図書館</p> <p>県立図書館</p>

<p>青少年教育施設の 整備・充実</p> <p>森林病虫害等防除 費補助金 (国補助1/2) ・緊急雇用創出事業 臨時特例基金事業</p>	<p>●目的 青少年教育施設の安全性を高め、利用者が安全・安心に活動できる充実した学習の場の提供を行う。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青少年教育施設整備充実事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ライフラインを中心とした施設の整備 ・飯豊少年自然の家が所有する山林のナラ枯れ対策 2 少年自然の家自然体験施設安全確保事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各少年自然の家の野外施設の点検、整備及び修繕 	<p>青少年教育施設</p> <p>飯豊少年自然の家 青少年教育施設</p>
<p>生涯学習施設の 整備・充実</p> <p>(県費)</p> <p>◇2年度開始</p> <p>◇16年度開始</p>	<p>●目的 生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（遊学館、霞城セントラル 10F）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行う。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習センター管理運営費 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び使用許可等業務に係る指定管理料 (指定管理者：財団法人山形県生涯学習文化財団) 2 生涯学習センター施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・冷温水発生機定期整備 	<p>生涯学習振興課</p> <p>生涯学習振興課</p>
<p>生涯学習推進事業</p> <p>(県費)</p> <p>◇19年度開始</p>	<p>●目的 地域における生涯学習・社会教育の推進、心豊かで想像力に富む人材の育成及び活力ある地域づくりの促進を図る。</p> <p>●内容 生涯学習施設「里仁館」における生涯学習推進事業に対する補助</p>	<p>生涯学習施設 「里仁館」</p>

(4) 山形県立図書館

☎990-0041 山形県山形市緑町一丁目2番36号

TEL 023-631-2523(代)

FAX 023-625-6520

1 運営方針

県民の学習活動のための基幹施設として、県立図書館が今後ますます高度化、多様化する県民ニーズに的確に対応し、各地域社会の発展に寄与するため、市町村立図書館との連携を一層強化しながら、県立図書館が担うべき次に掲げる基本的な機能の充実に努める。

- (1) 生涯学習情報センター的機能
- (2) 総合的情報センター的機能
- (3) 県内公共図書館の中心館的機能
- (4) 地域の社会・文化センターとしての機能

また、インターネット予約サービス及び横断検索システムの利用促進等により、広域的なサービス機能の一層の充実に努めるなど、各事業を確実に展開し、県民サービスの向上を図る。

2 主な事業

(1) 資料の充実

特定分野に偏らない総合的な資料整備を基本に、時代の要請にも即応した資料の整備を進める。

市町村立図書館・大学図書館等との役割分担及び利用者ニーズなどを念頭に置きながら、資料の充実に努める。

(2) 館内サービスの向上

利用者のニーズに的確かつ迅速に応えられるよう、司書資格を有する職員がカウンター業務を担当し、応対に当たっては利用者に好感を持たれるよう努める。

また、館内の良好な読書環境の維持、醸成及び利用者の安全を確保するため、照明、換気等の室内環境に配慮するとともに、利用マナーの遵守を呼びかける。

(3) 図書館情報システムの機能向上

図書館サービス及び業務効率の向上を目的として、新システムの開発を行なう。

主な新機能

- ① 入力データの即時更新（現行システムでは最短15分の更新時間）

- ② フリーキーワードでも資料検索可能（現行システムでは書名、著者名等）
- ③ 携帯電話からも貸出予約可能

(4) 創立 **100** 周年記念事業の実施

当館は、**1910** 年に「行啓記念山形県立図書館」として開館してから、本年 **100** 周年を迎えることから、記念事業を実施する。

(5) 図書館活動の広報

図書館活動の成果、各種イベント及び展示の情報をホームページや図書館報に掲載するとともに、報道機関にも積極的に提供する。

(6) 市町村立図書館（室）活動推進のための支援及び連携

インターネット予約と相互貸借の一層の利用促進を図り、相互貸借等の図書館（室）間協力体制を強化しながら、県内の図書館ネットワークサービスの展開を図る。

(7) 県外図書館、官公庁、大学、各種団体等との連携

- ① 総合目録ネットワークシステムのデータ提供館として、引き続き所蔵データを提供していくことにより、全国ネットワークの一翼を担いながら、全国の図書館との相互貸借の推進を図る。
- ② 官公庁及び各種団体等が主催するシンポジウムとの相乗効果を得るため、その開催会場に出向き、関連資料を展示する。

(8) 調査相談（レファレンス）機能の充実

- ① カウンター職員に対する職員研修により、レファレンス機能の充実を図る。
- ② レファレンス事例を国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースに提供していくとともに、ホームページ上で事例紹介をしていく。
- ③ レファレンスツールとしての県関係文献目録の充実を図り、一層効果的な活用方法についても検討していく。

(9) 展示の充実

春のこどもの読書週間、秋の読書週間にあわせて、年2回の企画展を実施する。さらに、テーマ別展示は、国民読書年のキャッチフレーズ「じゃあ、読もう」を基本テーマに、数回にわたって実施する。

(10) 子どもの読書活動の推進

- ① 子どもに読み聞かせを行っている方々が本を選ぶ助けになるリスト「絵本の本棚」を作成・配布し、読み聞かせ活動を支援していく。
- ② 学校、図書館等で子どもの読書活動の推進に関わっている方々との意見交換を重ねながら、さらに読書活動を推進するための連携の方途を探っていく。

(5) 山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1番8号

TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112

1. 基本方針

- (1) 本館及び教育資料館、附属自然学習園それぞれの機能の充実を図り、総合博物館の特色を生かした運営に努める。
- (2) 関連資料の収集・整理・保管、調査・研究、展示・教育活動の充実を努め、本県の自然や歴史・文化等の情報センターとしての役割を果たす。
- (3) 地域文化・社会教育の中核的拠点として、生涯学習や交流の場及び生涯学習の成果を生かす機会を提供し、県民のための開かれた博物館をめざす。
- (4) 「見やすく」「わかりやすく」「おもしろく」を合言葉に、展示や解説表示のさらなる充実を努める。

2. 運営方針

- (1) 収蔵資料の整理と情報化の推進
- (2) 安全・確実な資料保存
- (3) 調査・研究活動の推進
- (4) 魅力的な展示会の企画
- (5) 教育普及活動及び相談活動の充実
- (6) 広報活動の積極的な展開
- (7) 他機関との連携・協力

3. 重点事業

- (1) 収蔵資料のデータベース化の推進
- (2) ホームページの充実
- (3) 教育資料館開設30周年記念「三島通庸と洋風学舎—近代やまがたの学校—」展の開催
- (4) 独立行政法人奈良国立博物館との考古資料相互活用推進事業の実施
- (5) 日博協東北支部及び東北地区博物館協会の運営

4. 事業計画

(1) 展示会

- ① 教育資料館開館30周年記念「三島通庸と学舎」展 7月17日(土)～9月26日(日)
- ② 企画展「やまがたの人形」 5月22日(土)～7月4日(日)
- ③ 企画展「縄文のキセキ—半世紀の時を越えて—」 10月9日(土)～12月5日(日)
- ④ 共同企画展「私の宝物」 12月18日(土)～2月13日(日)
- ⑤ 企画展「うつくしい鉱物や岩石」 2月26日(土)～5月9日(日)

(2) 教育普及事業

① 講座

★館長・学芸員講座(7/3, 7/10, 7/24, 12/4, 12/11, 12/25)

★古文書講座(入門編)

	前期	後期	テーマ
①	5月20日(木)	①10月21日(木)	古文書とは何か
②	6月3日(木)	②11月4日(木)	くずし字の調べ方
③	6月17日(木)	③11月18日(木)	古文書を読んでみよう
④	7月1日(木)	④12月2日(木)	
⑤	7月15日(木)	⑤12月16日(木)	

★古文書講座(中級編)

	前期	後期	テーマ
①	5月21日(金)	①10月22日(金)	古文書を読む前に
②	6月4日(金)	②11月19日(金)	一紙文書を読む
③	6月18日(金)	③11月19日(金)	
④	7月2日(金)	④12月3日(金)	
⑤	7月16日(金)	⑤12月17日(金)	物語を読む

★霞城公園植物観察会

	期 日	テーマ
1	5月15日(土)	「春の植物観察」
2	9月18日(土)	「秋の植物観察」
3	3月19日(土)	「早春の植物、冬芽の観察」

★考古学講座—最上川と縄文むら—

	期 日	テーマ
1	10月23日(土)	「最上川に削り取られたむら」朝日町八ツ目久保遺跡(縄文中期)
2	11月20日(土)	「トチの実加工場のむら」寒河江市高瀬山遺跡(縄文晩期)
3	12月18日(土)	「日本屈指の大規模縄文むら」村山市西海淵遺跡(縄文中期)
4	1月15日(土)	「北東北との交流の拠点むら」村山市川口遺跡(縄文後期)
5	1月29日(土)	「県内最大級の複式炉を持つむら」鮭川村小反遺跡(縄文中期)

★親子博物館教室

	期 日	会 場	テーマ
1	5月29日(土)	朝日少年自然の家	「地層の観察」「昆虫の観察と採集」「植物採集と標本のつくり」
2	6月5,6日(土,日)	神室少年自然の家	「地層の観察」
3	6月19日(土)	金峰少年自然の家	「植物採集と標本のつくり方」「昆虫の観察と採集」
4	7月3日(土)	飯豊少年自然の家	「植物採集と標本のつくり方」「昆虫の観察と採集」

★夏休み体験教室

	期 日		テーマ
1	7月27日(火)	7月28日(水)	化石のレプリカ作り
2	7月29日(木)	7月30日(金)	体験! 勾玉づくり

★学芸員1日体験講座

	期 日	テーマ
1	8月4日(水)	人文系「山形の歴史や暮らしにふれる」
2	8月5日(木)	自然系「山形の自然とその恵みを知る」

★ミクロの世界入門講座

	期 日	テーマ
1	10月3日(日)	「粘菌類の観察、標本の作り方」
2	10月24日(日)	「微生物の観察」
3	10月30日(土)	「きのこ類の観察、標本の作り方」

②こどもの日、文化の日記念行事

	期 日	期 日	テーマ
1	5月5日(水)	こどもの日	おしぼのしおりづくり
2	11月3日(水)	文化の日	体験! 昔の遊び・昔の道具

③企画展記念講演会

	期 日	テーマ
1	10月16日(土)	「東北地方の縄文時代 (仮) -後・晩期の土偶-」
2	11月6日(土)	「日本の土偶 (仮) -世界の中の縄文ヴィーナス-」

④展示解説会

	期 日。			企画展名
1	5月22日(土)	6月5日(土)		「やまがたの人形」
2	7月17日(土)	8月7日(土)	9月19日(日)	「三島通庸と洋風学舎」
3	10月9日(土)	10月31日(日)	11月27日(土)	「縄文のキセキ」
4	未定			「私の宝物」
5	2月27日(日)	3月6日(日)		「うつくしい 鉱物や岩石」

(3) 共催事業

- ①共同企画展「私の宝物」 ②高校生学芸員一日体験講座 ③山形県立博物館友の会講演会
④日本薬用植物友の会講演会 ⑤サイエンス・カフェ in やまがた

(4) 博物館情報の発信

- ①平成22年度館報 ②企画展図録 ③研究報告 ④博物館ニュース
⑤博物館新ホームページ ⑥展示・催し物案内 ⑦各事業案内チラシ

(5) 博学連携

- ①高校生の学芸員一日体験講座 ②博物館実務実習
③出張博物館事業 ④職場体験学習の受け入れ

(6) 調査研究

- ①次年度の特別展、企画展に向けての調査研究
②時代に即した解説シート(電子版)の検討と作成
③平成23年度に向けた魅力ある教育普及事業の開発
④常設展示の展示内容の検討

(7) 資料の整理、保管

- ①収蔵資料のくん蒸 ②資料の保存と整理 ③資料のデータベース登録

(8) ボランティアとの協力連携

(9) 山形県立博物館友の会との協力連携

(10) 職員の資質向上

- ①各種研修会への職員の派遣と研修内容の還元 ②職員相互の研修会

(11) 関係団体関連の主要行事

- ①山形県立博物館協議会 第1回 9月 第2回 2月
②山形県博物館連絡協議会 第1回役員会及び総会 6月 第2回役員会 2月
③アートライン実行委員会
④日本博物館協会東北支部、東北地区博物館協会総会及び役員会 9月
⑤その他
・東北地区博物館実務担当者会 10月
・日本博物館協会 理事会、評議員会、館長会議 6月
・全国博物館大会 11月

(6) 山形県青年の家

〒994-0032 山形県天童市小路1丁目7番8号
TEL: 023-654-4545 FAX: 023-652-2007
e-mail: ieseinen@ic-net.or.jp

1 教育目標

様々な活動や交流をとおして積極的な社会参加を促し、自立と共助の精神に満ちた青少年を育成する。

2 スローガン

人とひと、人と社会をつなぎ、かかわりの中から明日をひらく

3 運営方針

- (1) 人や社会とのかかわりにつながる様々な体験活動や交流の機会を提供し、子どもと大人の社会力の育成に努める。
- (2) 「青少年ボランティアの育成・支援」、「次代を担うリーダー育成」、「青少年にかかわる現代的課題への対応」を3つの柱として位置づけて、中核的機能を発揮しながら事業を展開していく。
- (3) 利用団体の研修目的が達成されるよう主体的な研修を支援していく。

4 運営の重点

- (1) 組織体制の整備、関係機関・団体との連携
 - ① 管理部門（指定管理者）と指導部門（県職員）の業務分担を明確にしつつ柔軟に連携ができる組織体制を整備し、利用者視点に立った運営に努める。
 - ② 企画事業の充実のために、これまで以上に関係機関・団体との連携強化を図る。
- (2) 青少年ボランティアの育成・支援
 - ① 県内各地域で活動する青少年ボランティアサークルを支援するため、YYボランティアビューローの充実を図る。（YYボランティアの認知度向上、サークル訪問と相談、各サークルの情報の収集と発信、体験機会の提供、交流促進、地区センターとの連携など）
 - ② 学校、YYボランティアサークルの指導者、NPO、地域の団体等との人的なつながりとさらなる信頼関係の構築に努める。
 - ③ 青少年ボランティアの育成・支援のよりよいあり方を探るため継続的な調査研究を行う。
- (3) 次代を担うリーダー育成
 - ① 青年リーダーの育成
各地域で活動している青年のネットワーク形成と全県的な青年の交流を進めるため交流会を実施する。企画運営委員会が機能して青年自らが主体的に創り上げる学びの場となるよう努め、社会力の向上とリーダー育成に資する。
 - ② 高校生徒会リーダーの育成
県内各高校生徒会の交流と新執行部の資質向上を目的にセミナーを実施する。実施にあたってはニーズにあったプログラムの研究を進め事業の充実に努める。
- (4) 青少年にかかわる現代的課題への対応
フリースペース等の団体の理解と協力を得て、ひきこもりがちな青年を対象として交流会を実施する。交流会運営にあたっては、参加者の状況把握に努めて実行委員及び事務局が連携してきめ細かな対応に心がけながら交流促進を図る。
- (5) 施設の有効利用と安全管理
 - ① 管理部門と指導部門の連携を密にして県民の多様なニーズに応えられるよう運営の改善と広報に努め、施設の有効利用を図る。
 - ② 施設設備の安全点検と安全管理マニュアルの整備・見直し、防災訓練及びAEDの使用研修を行うなど事故防止と安全管理体制の確立に努める。
- (6) 職員の資質向上とOJTの推進
 - ① 社会教育・青少年教育施設の専門職員として、さまざまな研修の場を積極的に活用して資質向上を図る。
 - ② 事業計画や実施に際してはOJTを推進しながらより充実した事業展開となるよう努める。

5 企画事業

中核機能	事業名	事業のねらい	事業内容	期 日	対 象	人 数
青少年ボランティアの育成・支援	<主催事業> ボランティア広場	中高生にボランティア体験の機会を提供し、地域づくりに携わる方々との交流をとおして、地域の問題に目をむけるきっかけづくりをする。	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃やリサイクル活動など環境学習 まちづくり、地域活性化事業への参加 	①6/12(土) ②10/2(土) ③11/ 7(日)	中学生 高校生	各 10 ～ 30
	<主催事業> YYボランティアフェスティバル	地域ボランティアサークル会員の交流に重点を置きながら、活動をとおして、会員各自の成長とYYボランティアの認知度向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 講演 各サークル団体の活動事例発表 新たなボランティア体験 交流と情報交換 	10/16(土) ～17(日)	中高生・青(成)年サークル会員、一般中高生	120
	<主管事業> YYボランティアビューロー	地域青少年ボランティアに関する情報を収集発信することで、その活動を広報。サークルや学校教育を支援し、体験希望者に活動機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> サークルや学校への情報提供 訪問・相談活動 ボランティア希望者のマッチング YYボランティア体験活動 調査研究 	通年	サークル会員や学校のほか、広く県民全般	
次代を担うリーダーの育成	<主催事業> 生徒会ニューリーダーセミナー	県内高校の新執行部が一堂に会し、リーダーとしての資質を磨くとともに交流を深め、ネットワークづくりをめざす。	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレイキング 学校紹介のセッション 企画づくりのワークショップ 	1/22(土) ～23(日)	県内高校生徒会の新役員	120
	<主管事業> 山形青年交流事業	県内青年の人的ネットワークを構築することにより、各団体の活性化を図るとともに、青年自らの主体的な企画や運営をとおして、明日の山形県を築く青年リーダーを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 青年会議 企画運営委員会 サークル紹介 アイスブレイキング ワークショップ 交流会 	青年会議 ①5/8(土)～9(日) ②2/5(土) 企画運営委員会 ①5/29(土) ②6/26(土) ③7/17(土) ④8/28(土) ⑤9/26(日) ⑥10/30(土) ⑦11/12(金) ⑧11/27(土) 交流会 2泊3日程度	20歳以上の青年	100
青少年にかかわる現代的課題への対応	<主管事業> 若者自立支援事業	ひきこもりがちな青年に、自然体験と他者との交流の機会を提供し、対人関係のスキルを向上させ、社会参加のきっかけづくりとする。	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験活動 レクリエーションやゲーム ティーパーティー ワークショップ 交流会 など 	実行委員会 ①4/26(月)～27(火) ②5/17(月) ③7/3(土) ④9/17(金) 交流会 ①6/23(水)～24(木) ②8/18(水)～19(木)	県内のひきこもりがちな青年と支援者等	40

(7) 山形県朝日少年自然の家

〒990-1101 西村山郡大江町大字左沢字楯山2523-5
TEL 0237-62-4125 FAX 0237-62-4126

- 1 基本テーマ 『光と水と大地の中で』
～木々のみどり・風のささやき・水の鼓動～
- 2 教育目標
豊かな自然の中での野外活動や集団宿泊生活等を通して、社会力を育み、心身共に健全でたくましく生きる人間の育成に努める。
 - ◇ 自然の厳しさや優しさに触れ、自然を大切にする心を育てる。
 - ◇ 集団宿泊生活を通して、自らを律し仲間を思いやる心を養う。
 - ◇ 自然の中で心身を鍛え、主体的に実践・創造する態度を養う。
- 3 運営方針
価値ある体験活動を通して社会力を身につけ、自己実現できるよう支援する。
- 4 運営の重点
 - (1) 教育内容と支援の充実
 - ①利用団体のねらいや実態にあったプログラム作成や、事前踏査を支援する。また、指導者が主体的に活動を仕組めるよう助言、支援する。
 - ②多様化する利用者のニーズに応えるプログラムや魅力ある新たな活動プログラムの開発と実施に努める。学社連携プログラムの推進と利用拡大推進活動を継続していく。
 - ③学校の利用はもちろん、PTA学年行事や子ども会、スポーツ少年団、幼稚園・保育園の利用を促進する。自然の家のよさをPRし、広報活動と情報提供、施設訪問等を実施する。
 - (2) 企画事業の充実
 - ①ボランティアスタッフの研修会を実施し、企画事業の支援や専門的技術の提供等に力を発揮できるように資質の向上に努める。
 - ②ねらいや育てたい力を明確にし、確かな力をつけたり興味関心を持たせたりする。また、自然体験や集団生活を通して、友だちや親子のかかわりを深め、主体的な行動、思いやりの心を養うようにする。
 - ③季節に合った活動、あっと驚く活動、自然素材を生かした活動、手間のかかる活動など自然の家ならではの魅力ある活動プログラムを企画する。
 - ④公共機関や関連施設・団体と連携し、専門的な知識や技能のお持ちの方から指導いただく。
 - ⑤プラネタリウムなど施設の特性を生かし、プロの技にふれるなど特色ある事業を実施する。
 - (3) 施設・設備の整備、充実
 - ①利用者のニーズを尊重しながら、活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。また、新たな野外散策コースの整備を模索する。
 - ②樹木の間伐や道標・野外遊具の更新、各コースの施設の修繕などにより野外活動地の整備を図る。
 - (4) 安全管理の徹底
 - ①施設設備・各活動コースや野外活動地内の安全点検を確実に実施し、安全確保と事故防止に努める。
 - ②利用者の健康状況の把握を密に行い、健康管理の徹底を図る。
 - ③入所時のオリエンテーションをしっかりと行い、けがや事故の大変さや影響について知らせ、安全を意識して活動できるようにする。
 - (5) 朝少の家庭化
 - ①きめ細かな対応に心がけ、利用者と職員相互の信頼関係を大切にし、協力と融和をもって親しみやすい家づくりを推進する。
 - ②事務分担を基本にしながらも、コミュニケーション、協働を大切にし、働きやすい家づくりに努める。

5 企画事業

《 主管事業 「元気な森の学校推進事業」 / 「自然体験活動指導者養成事業」 》

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
元気な森の学校推進事業	元気な森の学校 ブナの森探検隊 (親子ふれあい体験教室)	親子一緒に宿泊しながら自然に親しむことにより家族の絆を深め、森を大切にすることを育てる。	・アウトドアクッキング 親子キャンプ・天体観測 ・春の月山ブナの森探索	6月5日(土) ～6日(日)	中学生までの子ども その保護者	15組
	元気な森の学校 幼児の自然体験フォーラム (環境セミナー)	自然体験をとおして、自然や人とのかかわりを感じ、豊かな感性を引き出すきっかけづくりを行う。	・講演 ・自然体験活動(含 森林学習)	9月18日(土)	一般 幼児教育関係者	50名
	元気な森の学校 ブナ雪原探検隊 (親子ふれあい体験教室)	冬のブナ林を探索することによって、大自然の雄大さや神秘性を体感し、自然を愛する心を養う。	・冬の月山ブナの森探索 ・雪どうろう作り ・蜜ろうそく作りなど	3月12日(土) ～13日(日)	中学生までの子ども その保護者	30名
指導者養成事業 自然体験活動	朝少サポーターのつどい	子どもたちの社会力を育む多様な体験活動に必要な指導者(サポーター)を養成し、その活用を図る。	<講義、演習> ・体験活動の意義 ・体験活動と教育課程との関連 ・体験活動の指導法、技術 ・事業の企画	4月24日(土) ～25日(日) 10月23日(土) ～24日(日)	一般 (18歳以上)	50名

《 主催事業 》

指導者・指導員の養成と研修事業	利用団体指導者 セミナー	指導者が、事前に実践的な研修を行うことにより、効果的な活動プログラムを立案できるようにする。	・施設利用の仕方について ・活動プログラム実技研修 ・活動プログラムの立案・調整	4月15日(木) 5月23日(日) 8月22日(日)	利用団体の 引率指導者	団体数に 応じて
	朝少活用セミナー	利用申込をした団体や、プログラムの見直しが必要な団体について研修の機会を提供し、効果的な活動プログラムを立案できるようにする。	・活動地や施設等の状況確認 ・活動プログラムの立案 ・プログラムの見直しや修正	毎週金曜日 (午後)	利用団体の 引率指導者	団体数に 応じて
	自然学習実践講座	植物、地層、天体など、自然学習にかかわる指導力の向上を図る。 ※地区理科教育センター等との連携事業	・プラネタリウム学習 ・野遊び体験 ・教科や「総合的学習の時間」への対応	地区理科教育センター等の事業に合わせて	教員・ 保育士等	団体数に 応じて
ふれあい推進事業	チャレンジキャンプ 2010	大自然の中で仲間とともに長期にわたり野外活動をする中で、豊かでたくましく生きる力を育む。	・登山(月山) ・最上川筏下り、 ・キャンプ生活など	8月3日(火) ～8日(日)	小学4年 ～中学生	30名
	朝日わくわく広場	友達や家族と自然の中で活動を楽しむことにより、自然のすばらしさや人とのかかわりの大切さを学び、生活に生かせるようにする。	・季節に応じた活動 (季節料理、野外ゲーム、ネイチャークラフト、雪遊びなど)	5/1土 6/12土 7/17土 9/1土～12日 11/13土 12/18土 1/15土 2/19土	小学3年～ 中学生 その保護者 ※内容に よって子 ども限定	各40 ～80名
	朝少フェスタ 2010	秋の実りに感謝するとともに、屋台村や創作活動を通して主体的にかかわり、楽しく活動できるようにする。	・屋台村 ・もちつき ・選択クラフトなど	10月2日(土) ～3日(日)	小学3年～ 中学生	80名
施設特性事業	プラネタリウム 一般公開	プラネタリウム観望を通して、季節の星空についての知識を深めるとともに、生の音楽に触れ、豊かな感性を育てる。	・生演奏や朗読を聞きながら、 季節の星座めぐり	5月 8日(土) 5月 9日(日) 12月4日(土) 12月5日(日)	どなたでも	各80名

(8) 山形県金峰少年自然の家

(本館) 〒997-0361 鶴岡市高坂字杉ヶ沢 54-1

(分館) 〒 999-8531 遊佐町菅里字菅野 299

Tel 0235-24-2400 Fax 0235-25-5900

Tel 0234-77-2166 Fax 0234-77-3725

1 基本テーマ 「緑と星と海を求めて」 ―――― 感動から成長へ

2 教育目標

恵まれた自然環境の中での活動や集団生活を通して、感情を豊かにし情操に磨きをかけるとともに、自己を見つめ自立の精神や社会性を身につけ、人間として心豊かにたくましく生きる力を育てる。

- (1) ありのままの自然の営みを感じる「感性」
- (2) 未知のもの、困難に立ち向かう「勇気」と「誇り」
- (3) 喜びを共有する「心」と「社会性」

行動の柱 感じる やってみる 支えあう

3 運営方針

目標具現に向けた行動の柱である「感じる・やってみる・支えあう」活動の基盤となる「本物」「仲間」にこだわり、そこから得られる「感動」が「成長」に繋がるような「自然」と「人」の充実した魅力ある施設運営に努める。

4 運営の重点

(1) ミッションの共有

- 本物・仲間から感動を得られる場

(2) 利用団体から満足していただける研修支援事業

- 本館分館の支援体制の一元化を図りながら、充実した活動の提供に向けた支援。
 - ・ 事前相談や実地踏査、ミニプログラムデザイン講座などを充実させ、自主活動でのダイナミックな活動を可能にするきめ細かなプランニング支援をする。
- 安心感のある指導を保証した受入れ支援。
 - ・ 登山や天体・海洋活動等の専門的・本格的な野外活動やより密度の濃い仲間作り活動の支援に向けての指導を充実させる。

(3) 質の高い、先導的な内容の企画事業

- 感動を共有し、生涯にわたる心の糧を育てる事業を行う。
 - ・ 庄内の山・海・文化に存分に浸りながら、自分達で作り上げていく活動を展開する。
- 指導力や力量を高め、魅力的な人を育てる事業を推進する。
 - ・ 指導者の企画力や指導力を高める研修、青年の成長を支援する事業を展開する。

(4) 現代的な課題に即した調査研究・開発、研修、情報発信

- 中、長期的な視点に立った新しい施設像をさぐる。
 - ・ 金峰、海浜それぞれの特色を出し、庄内の自然や文化の体験活動の魅力を改めて発信する。
 - ・ 学習と結びつく効果的なプログラムの開発や試行を進め、活動資料の充実を図る。

(5) 県民に支持される施設

- 教育施設としての質の充実を図る。
 - ・ 安心して活動でき、辛さ・困難さも満足感として残るような対応や支援をする。
 - ・ 本館分館それぞれの機能を発揮し、一元化により最大限の効果を出せる環境を整える。
 - ・ 利用者の立場に立って行動し、より開かれた利用しやすい施設に努める。
- 新たな需要の発掘。
 - ・ 出前の講座や事前事後指導、施設の有効活用を意識した利用支援。

5 企画(主催・主管・学習支援)事業

事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
自然の中で親と子のふれあいを深める事業					
わくわく 家族キャンプ	親子で自然を愛する気持ちを育て、家族間のふれあいの機会を提供します。	・野外クッキング、テント泊等 キャンプの基礎体験 ・参加家族間の交流	10月30日(土) ～31日(日)	親子	15組 (60人)
月のうさぎと ペタンコ	月見の風習を体験し、天体に対する興味を喚起します。	・天体望遠鏡での月の観察 ・餅つき、月見団子作り	11月20日(土)	どなた でも	100人
ウインター フェスティバル	雪国の風習や冬の遊び体験を通して親子、仲間のふれあいの場を提供します。	・雪灯籠作り ・団子木作り ・チューブ滑り ・お楽しみ屋台 ・キャンプファイヤー	1月29日(土) ～30日(日)	小・中学 生と 保護者	100人
異年齢集団の交流の中で自然に親しむ心やたくましさを育てる事業					
わんぱく自然塾 春・夏・秋・冬	オールシーズンキャンプを体験することで四季の移ろいを感じ仲間との協調性、自立心、忍耐力を養います。	・山キャンプ活動 ・登山 ・海キャンプ活動 ・ビバーク ・カヌー、いかだ製作 ・環境を生かした野外活動	春 5月22日～23日 夏 8月1日～7日 秋 10月9日～11日 冬 2月12日～13日	小4～ 中学生	各回 36人
わくわくちびっこ キャンプ①・②	自然の中でのキャンプ基礎体験を通して野外活動の楽しさを感じながら、友達との協調性、自立心、忍耐力を養います。	・テント泊、野外クッキング等の 野外活動の基礎体験 * は保護者も参加し子育て講習と交流、カウンセリング	9月11日(土) ～12日(日) 10月2日(土) ～3日(日)	年長児 ～小2 児童 (保護者)	20人
指導者のための研修事業					
KINBOW プログラム デザイン講座 I・II	利用指導者のプログラム企画力向上を図るため、体験活動や事前相談・利用団体間の活動調整をします。	・プログラム作成のための研修 ・活動体験 ・施設見学や研修 ・団体間の活動調整	4月19日～20日 5月14日～15日	利用団 体引率 指導者 (学校) ----- (社教)	団体数
海浜 プログラム デザイン講座 I・II			4月23日(金) 5月30日(日)		
KINBOW 活用講座			6月27日(日)		
ボランティア スタッフセミナー	教育ボランティアの内容を理解すると共に、リーダーとして活動できるようキャンプ等の基礎技能の修得を図ります。	・教育ボランティア講話 ・野外活動の実技講習 ・「あそびの王国」の企画運営	4月24日(土) ～25日(日)	高校生 ～成人 スタッフ	なし
海浜自然の家第40期 指導員養成講座	リーダーとして活動できるよう自然体験活動の基礎技術の習得し、プログラム企画力の育成を図ります。	・教育ボランティア講話 ・仲間作り、野外活動の実技講習	2月20日(日)	一般成人	15人 ～20人
金峰指導員養成講座			3月6日(日)		
自然体験活動 指導者養成セミナー ①・②	リーダーとして活動できるよう自然体験活動の基礎技術の習得し、プログラム企画力の育成を図ります。	・仲間作りの手法、指導法習得 ・自然や生態系の学習、指導法 ・体験学習法の研修 ・体験プログラム企画	5月14日(水) ～15日(木) 11月19日(土) ～20日(日)	教職員・ 青少年 指導者	20人
自然への興味を広げる事業					
はるかぜトレッキング	里山散策・観察・登山等の活動や森林・河川の環境を考える体験をし、金峰周辺の豊かな自然にふれる機会を提供します。	・講師による解説と里山散策 ・環境学習や保全体験 ・季節のクラフトや食体験 ・金峰エリアでの環境学習	4月4日(日)	どなた でも	各回 30人
森林環境セミナー			10月24日(日)		
元気な森の学校			年間継続		
カヌー塾	カヌー体験を通して海や川の自然にふれる機会を提供します。	・カヌー体験(海・川) ・カヌーレース	7月10日(土) 7月11日(日)	どなた でも	40人
エンジョイ フィッシング	釣りを通して庄内の海の楽しさを感じる機会を提供します。	・磯釣り大会(大きさ、種類、数) ・参加者間交流	9月18日(土) ～19日(日)	どなた でも	40人
共催事業					
サタデー あそびの王国	ボランティアスタッフの運営で、金峰周辺の自然を体感する活動を提供します。	・季節感のある体験遊び ・採集 ・釣り ・たき火 ・自然の素材でのクラフト ・ゲーム	7月4日(日) 12月18日(土) (年間2回)	幼児～ 児童生徒 親子	各回 80人～ 100人 程度

*他に学習支援事業として「金峰野あそび」(春・秋)と「金峰雪あそび」(冬)を幼稚園・保育所・小学校低学年を対象に実施。

1 基本テーマ 野性と冒険

自然の中で生き生きとたくましく活動し、未知の体験に進んで取り組む人間の育成

2 教育目標

自然体験や集団生活体験、社会体験等をとおして「野性味とたくましい冒険心」を培うとともに、他とのかかわりを深めることにより「生きる力」をはぐくみ、感性豊かに「いのち」輝く人間の育成に努める。

- (1) 自然に親しみ、自然を大切にできる心や美しいものに感動する心を育てる。
- (2) 集団生活の中で他との豊かなかかわりを促進し、自律・コミュニケーション力・協同・思いやり・感謝の心等を培う。
- (3) 人や自然に自ら働きかけ、新たな挑戦や体験に積極的に取り組むことにより心身を鍛え、主体的に行動する態度を養う。

☆スローガン 笑顔で共感、情熱で創り出そう 活動の喜び

3 運営方針

- (1) 〔企画事業〕 施設的环境や機能、地域の特性をいかした事業を推進する。
- (2) 〔支援事業〕 利用団体の主体的な活動を積極的に支援する。
- (3) 〔施設利用事業〕 生涯学習の視点に立ち、施設の特性をいかした活動の充実を図る。
- (4) 〔安全対策〕 施設・設備の環境整備と安全管理に努める。
- (5) 〔人的環境の構築〕 共感を大切にして利用者と職員、職員相互の信頼関係を深める。
社会教育施設の役割を担う職員としての資質向上を図る。
施設ボランティアの養成と活動の支援を進める。
- (6) 〔改善と進化〕 利用者の声や諸会議等を基に、常に改善を志向する。

4 運営の重点及び具体策

(1) 企画事業

創意と工夫に満ちた活動をとおして、友達や家族、自然との豊かなかかわりを推進するとともに、自他のよさに気づかせ、達成感や満足感が得られるようにする。

(2) 支援事業

学校や関係機関との連携を強め、利用団体のねらいに沿った活動プログラムの提供に努めるとともに、ねらいの達成に向けて積極的に支援を行う。

(3) 施設利用事業

生涯学習の視点に立ち、魅力ある体験活動プログラムの開発に取り組む。

(4) 安全対策

安心して活動できるための環境整備と利用者の健康保持を図り、施設・設備の安全・衛生管理に努める。

(5) 人的環境の構築

青少年教育施設の職員として専門的力量を高める。

施設ボランティア養成講座や研修会の充実を図り、利用者への支援活動や環境整備に努める。

(6) 改善と進化

アンケートや利用者の声を大切にし、施設設備や活動内容、活動支援の改善に努める。

5 企画事業

区分	事業名	ねらい	主な内容	開催期日・期間	参加対象	募集人数		
親子のふれあい事業	自然大好き！いいでクラブ (全6回)	季節に応じた体験活動を通して、親子や仲間との関わりを深め、豊かな感性を育む。	自然体験活動 クラフト活動	① 5/9(日) ② 6/12(土) ③ 11/20(土) ④ 11/28(日) ⑤ 12/18(土) ⑥ 1/15(土)	幼児 小学生 中学生 保護者	各回 100名 程度		
	いいでファミリーキャンプ	野外宿泊体験や炊飯活動を通して、自然の中で親子そろって活動する楽しさを味わうとともに、親子のふれあいを深める。	野外宿泊体験 野外炊飯活動	8/21(土)～22(日)	幼児 小学生 中学生 保護者	10家族 程度		
	夏のオープンデー	季節に合わせた体験活動や自然物などを活用した体験屋台での活動を通して、親子や仲間とのかかわりを深め、豊かな感性を育む。	体験屋台活動	7/18(日)	どなたでも	150名 程度		
	自然楽校でお祭りだ！			10/10(日)		300名 程度		
自然体験事業	いいでアドベンチャーキッズ ～春キャンプ～	季節に応じた自然体験活動やテント生活などの宿泊体験活動を通して、異年齢の仲間との関わりを深め、豊かな感性とたくましく生きる力を育てる。	自然体験活動 野外宿泊体験 クラフト活動 野外炊飯活動	5/29(土)～5/30(日)	小学3年～ 中学3年 ※夏キャンプのみ 小学4年以上	各回 36名		
	いいでアドベンチャーキッズ ～夏キャンプ～			8/3(火)～8(日)				
	いいでアドベンチャーキッズ ～秋キャンプ～			10/23(土)～24(日)				
	いいでアドベンチャーキッズ ～冬の冒険隊～			2/26(土)～27(日)				
感性育成推進事業	めざまの春さがし	春の野山で遊んだり動植物の様子を観察したりして、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	自然観察 Fアスレチック	4月中旬～5月中旬	幼児教育施設 小学校などの 各種団体	1日 2団体 程度		
	夢いっぱいどんぐり広場	秋の野山で木の実拾いをしたり焼き芋をしたりして、秋の実りを楽しむとともに、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	木の実拾い 自然観察 焼き芋体験 クラフト活動	9月上旬～10月中旬				
	もくもくやきいも体験			10月中旬～11月初旬				
	わくわくスノーランド	冬の自然体験活動を通して雪国ならではの遊びやスポーツを体験するとともに、自然への興味関心を高め豊かな感性を育む。	チューブすべり スノーハイキング など	1月中旬～3月上旬				
	アツアツやきいもパーティー	焼き芋体験を通して秋の自然に親しみ、親子のふれあいを深める。	焼き芋体験	11/7(日)			幼児 小学生 保護者	20家族 程度
	スノーランド2011ファイナル	チューブすべり体験を通して冬の自然に親しみ、親子のふれあいを深める。	チューブすべり	3/6(日)				
指導者・指導員の研修事業	ボランティアセミナー	自然の家の役割やボランティア活動の意義について理解を深め、指導員としての専門的な技術の向上を図る。	講話、研修	5/8(土)	高校生以上 成人一般	希望者 全員		
	活用セミナー(全3回)	集団宿泊体験活動や野外活動などの実施方法について研修し、当所の利用方法について理解を深めていただく。	講話、実習 利用団体調整会	① 4/14(水)～15(木) ② 5/18(火)～19(水) ③ 6/26(土)～27(日)	施設利用予定 団体の指導者			
	フライデーセミナー	事前に活動場所を見たり活動内容について相談を受けたりして、当所の利用方法について理解を深めていただく。	下見、事前相談	毎週金曜日14:00～				
生涯学習推進事業	トレイルランニング in lide	ハイキングコースを自分のペースで走ったり、仲間と競い合ったりして、トレイルランニングを楽しむ。	トレイル ランニング (年代・男女別)	9/25(土)	どなたでも	希望者 全員		
	おきたま発見！ウォーキング	置賜地方の自然や歴史・文化にふれる体験活動を通して、郷土のすばらしさを再認識するとともに、自分の体力に合わせてウォーキングを楽しむ。	講師による案内 ウォーキング	10/3(日)	どなたでも	40名 程度		
施設特性事業	いきいき体験塾	施設の特性を活かして多様なニーズに対応していくとともに、青少年に限らず幅広い年齢層の利用促進を図る。	各団体の要望 に応じて対応	通 年	中高年対象 の各種団体	5名以上 の団体		
	体験学習サポート事業	施設の特性を活かした学習活動や近隣施設などへの広域学習を提案したり、「出前講座」を開催したりして、学校教育活動を支援する。	各学校の要望 に応じて対応	通 年	小・中学校	各校に よる		

基本テーマ「自然と生活と科学」～いのち輝く交流・感動体験を～

教育目標

自然（いのち）、生活（かかわり）、科学（まなび）と捉え、「自然とのかかわり」「仲間とのかかわり」「まなびの活動」を通して、心豊かな青少年の育成を目指す。

運営方針

- 自然の美しさと厳しさに触れさせ、「いのち」の大切さを基調にした自然への感性を養うと共に、自他の生命と生き方を尊重する豊かな心と健やかな身体を育てる。
- 集団での生活を通して、基本的な生活習慣を作り、また、自然や人との多様な「かかわり」の中で、高い意欲や関心・思いやり・信頼感など豊かな社会力を養う。
- 先人の知恵や技に学び、質の高い活動や体験を通して得た知識や知恵を、「まなび」や生活実践にまで高めることにより、自立した人間づくりを目指す。

利用団体への指導・支援

- ◇事前打合せの充実・ねらいの明確化
- ◇ねらいにあったプログラムの提供
- ◇プログラムの工夫・改善・開発（学校規模別・季節別・対象者別）
- ◇教育的効果の検証
- ◇学社融合事業の充実（サント・スクール・学校教育サポート事業・出前講座）
- ◇引率者の実態に対応したガイドセミナーの実施
- ◇利用後アンケートの満足度アップと低評価への対応
- ◇3泊以上の長期宿泊体験学習校への支援
- ◇学年・学級親子行事に対応した活動の開発と支援
- ◇スポ少・中学部活動対応プログラムの開発

特色ある事業展開

- ◇関係機関・団体との連携
 - ・神室指導員会
 - ・関栗老人クラブ
 - ・里山遊び倶楽部
 - ・山形大エリアキャンパス最上
- ◇関係機関・団体との協同事業の開催
- ◇自然体験活動指導者の養成
 - ・施設ボランティア研修会
 - ・自然体験活動指導者養成研修会
- ◇外部講師の発掘
- ◇子育て支援のプログラム開発
- ◇当所の特色である「川での活動」プログラムの開発と支援
- ◇「神室のいずみ」（広報）やプレゼンによる情報発信
- ◇主催事業の募集やPRの工夫
- ◇効果的なホームページ作成

安全・安心な施設管理

- ◇定期的な安全・衛生点検の実施
- ◇不備な箇所への迅速な対策と対応
- ◇危機管理について
 - ・「知識」より「意識」
 - ・常に「もしかしたら…」の発想を
 - ・マニュアルの点検
 - ・マニュアルに基づく訓練の実施
- ◇野外炊飯時の安全
 - ・ナタの使い方指導の徹底
 - ・野外炊飯場、野外炊飯用具の使用前点検の徹底
- ◇ならの木・ふじの木両キャンプ場、散策道（モンキーブリッジ含む）の定期的見回りと整備
- ◇心肺蘇生法や応急手当の定期的講習会の実施

職員の資質向上

- ◇職員の意識改革
 - ・「施設は人なり」「施設は人でもつ」を肝に
 - ・迅速かつ誠意ある対応
- ◇「5S」で対応
 - ・Safety
 - ・Speed
 - ・Smile
 - ・Sincerity
 - ・Skill
- ◇自然体験活動及び野外活動自己スキル向上
 - ・各種研修会への自主的参加
 - ・職員同士の情報交換と切磋琢磨
- ◇コミュニケーションとレクリエーションのある職場づくり

運営の重点

いつも明るく前向きに、“感謝”と“楽しむ”気持ちを忘れずに 【職員のモットー】

今年度の重点

- 成人対象の新規主催事業（最上トレッキング倶楽部）への取り組み
- 子育て支援プログラム ⇒ 保育所・幼稚園・学童保育・子育て支援サークルなどへの広報と親子事業の充実 出前講座の拡充
- 協同事業（コラボレーション）への取り組み
- 野外キャンプ場周辺整備 ⇒ 『明るく、使いやすく』
- ピザ釜増設 ⇒ 子供会、学年・学級親子行事、主催事業への対応
- ホームページの効果的な作成

5 企画事業

【主管事業 元気な森の学校推進事業・自然体験活動指導者養成事業】

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
元気な森の学校推進事業	家族ふれあい体験教室	親子での自然体験を通して、自然の素晴らしさを体感したり、親子の絆を深めたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 木こり体験 雪遊び・テント泊 環境に関する講話 かんじきハイキング 	①6/26(土)・27(日) ②2/26(土)・27(日)	幼児～中学生とその保護者	約20組
	神室フェスティバル(地域連携事業)	地域の方々との連携による自然体験活動を通して、森や自然を大切にしようとする気持ちを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 炭焼き体験 講話・登山 野外ゲーム クラフト制作 	10/3(日)	どなたでも	約100名
指導者養成事業	指導者講習会	自然体験活動を実施する際の中心となる指導者を養成し、より効果的な体験活動の実施を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 体験学習法理解 活動体験 講義 	①9/4(土)・5(日) ② 11/13(土)・14(日)	教員、青少年育成団体、社会教育関係者など	約20名

【主催事業】

研修事業	施設ボランティア研修会	施設のボランティアの資質や技能の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 実技研修 年間計画の確認 事業企画 	5/8(土)	神室少年自然の家ボランティア	約20名
	神室ガイドセミナー	施設、設備の利用の仕方や活動内容の理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用の仕方 選択実技研修 プログラム検討 	①4/15(木) ②5/13(木) ③ 6/17(木) ④ 7/15(木)	利用団体の引率指導者	約70名
施設活用モデル事業	アドベンチャーキャンプ2010	仲間とともに、大自然の中で長期にわたる野外活動体験を行うことで、豊かにたくましく生きる力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ生活 登山、川遊び 	8/2(月)～7(土) 〔5泊6日〕	小学4年生～中学3年生	30名
	わんぱく探検隊	四季に応じた様々な野外活動に取り組むことで、自主性や協調性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 登山・川遊び テント泊 野外炊飯 蛍観賞・雪遊び チューブスライダー 	①6/5(土)・6(日) ②7/10(土)・11(日) ③9/18(土)・19(日) ④2/5(土)～6(日)	小学3～4年生	約36名ずつ
	神室キッズクラブ	異年齢集団での活動を通して、積極的な生活態度や生きる力、社会性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 仲間作りゲーム 登山・自然散策 クラフト制作 川遊び・野外炊飯 しめ飾り作り 	A①5/15(土) A② 8/28(土) A③ 12/11(土) B① 5/16(日) B② 8/29(日) B③ 12/12(日)	小学3年生～小学6年生	約30名ずつ
	最上トレッキングクラブ	登山などの体験を通して、大自然の雄大さや神秘性などを体感する。	<ul style="list-style-type: none"> 登山 自然散策 	10/23(土)・24(日)	一般(18歳以上)	約30名
	幼児・低学年キャンプ	幼児が自立する力、仲間とかかわる力を育む。親の自然体験や子育て支援の機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 自然散策 クラフト制作 野外炊飯 テント泊 	10/16(土)・17(日)	年長と小学校低学年児童とその保護者	約20組
学者連携融合事業	学校教育サポート事業	小中学校で、自然の家のプログラムを活用しながら教育効果の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習への支援 仲間作りへの支援 	①9/14(火)～11/26(金) ②1/11(火)～2/25(金)	最北地区内の小中学校、幼稚園、保育所	約1000名
	宿泊学習モデル事業	対象校と連携を図りながら、宿泊体験学習の充実を目指し、プログラム立案から評価まで支援、協力する。	<ul style="list-style-type: none"> プログラム作成 支援の検討、実践 教育効果の検証 	対象校実施日	3泊以上の学校	5校
一般開放事業	神室ウインターフェスティバル	少年自然の家を広く開放し、冬の自然体験や伝統行事の体験を通して、体験活動の動機付けを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 雪遊び クラフト制作 なしだんご木飾り 餅つき 	1/23(日)	どなたでも	約100名

5 山形県生涯学習センター事業計画

〒990-0041 山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内
TEL (023) 625-6411 FAX (023) 625-6415

1 設置目的 県民の生涯にわたる自主的な学習活動を総合的に支援、助長し、県民一人ひとりの心豊かな生活の創造と地域社会の振興並びに地域の活性化を担う人材の育成を図る。

2 運営主体 財団法人 山形県生涯学習文化財団

3 基本的機能と役割

本県の生涯学習振興の中核施設として、県民及び県内外の生涯学習関連施設との情報ネットワークの形成を図る基本的機能を持つとともに、次のような役割を担う。

- (1) 講座・研修等各種生涯学習事業の開発及び実施
- (2) 生涯学習振興に関する調査研究
- (3) 学習情報の整備、提供及び相談
- (4) 学習者相互の交流・研鑽・発表に係る機会及び場の提供並びに支援

4 運営の基本方針

- (1) 関係機関と連携し、県民に親しまれる生涯学習センターの運営を図る。
- (2) 地域学を推進するとともに、県民が主体的に学ぶ機会を提供する。
- (3) 学習情報の整備・充実を図り県民に提供するとともに、調査研究を行う。
- (4) 主体的な学習活動への支援を行うとともに、地域の指導者等人材の育成を図る。

5 主な事業項目

- (1) 総合的な学習情報の提供
- (2) 主体的な生涯学習活動への支援・連携
- (3) 県民主体の学習機会の提供
- (4) 施設の利用促進と県民サービスの向上

6 事業体系

<自主事業>

- (1) 総合的な学習情報の提供——調査・資料収集事業
 - 学習情報紙発行事業
 - ICT 学習素材収集整備事業
 - 学習情報収集・提供事業
 - 長寿社会情報ネットワーク推進事業
 - シニア仲間づくり応援サイト運営事業
- (2) 主体的な生涯学習活動への支援・連携
 - 講座・セミナー・育成事業
 - 生涯学習支援者育成事業
 - 子どもを育む生涯学習活動推進事業
 - 助成事業
 - 生涯学習活動支援事業
 - シニア地域実践活動支援事業
 - 「山形学」地域連携講座支援事業
- (3) 県民主体の学習機会の提供——講座・セミナー・育成事業
 - 「山形学」推進事業
 - 「地域学交流集会」開催事業
 - 「遊学21世紀講演会」開催事業
 - 「仙人講座」開催事業
 - シニア社会参画支援事業
 - 遊学館20周年記念事業

<受託事業>

- (2) 主体的な生涯学習活動への支援・連携——調査・資料収集事業——「山形ふるさと塾」推進事業
- (4) 施設の利用促進と県民サービスの向上——施設管理事業——
 - センター管理運営事業
 - 分館管理運営事業

7 平成 22 年度事業概要

(1) 自主事業

事業分類	事業の趣旨	事業名	摘要
総合的な学習情報の提供	・ 県民の自主的な学習活動を支援するため、様々な方法により、広域的・総合的に学習情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習情報紙発行事業 ◇ ICT 学習素材収集整備事業 ◇ 学習情報収集・提供事業 ◇ 長寿社会情報ネットワーク推進事業 ◇ シニア仲間づくり応援サイト運営事業 	
主体的な生涯学習活動への支援・連携	・ 地域における NPO 等の主体的な学習活動の推進を図るため、主体的な学習活動と連携して講座開設や人材育成等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生涯学習支援者育成事業 ◇ 子どもを育む生涯学習活動推進事業 ◇ 生涯学習活動支援事業 ◇ シニア地域実践活動支援事業 ◇ 「山形学」地域連携講座支援事業 	
県民主体の学習機会の提供	・ 県民の幅広い学習ニーズに応えるため、多様な生涯学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「山形学」推進事業 ◇ 「地域学交流集会」開催事業 ◇ 「遊学 21 世紀講演会」開催事業 ◇ 「仙人講座」開催事業 ◇ シニア社会参画支援事業 ◇ 遊学館 20 周年記念事業 	

- (2) 受託事業
 - ・ 施設管理事業（県）
 - ・ 「山形ふるさと塾」推進事業（県）

- (3) その他
 - ・ 地域イントラネット基盤施設整備事業（県）

6 平成22年度 山形県社会教育委員名簿

No.	氏名	役職
1	いわさわ 岩沢 ちか	ボランティアグループトライあぐる事務局 小国町放課後子どもプランコーディネーター
2	おちあい ようこ 落合 陽子	庄内町立余目第一小学校 学校支援地域本部事業コーディネーター
3	おの しょうし 小野 庄士	山形県高等学校長会 (山形県立米沢工業高等学校長)
4	かたぎり みちこ 片桐 理子	山形県連合小学校長会 (山形市立宮浦小学校長)
5	かとう まちこ 加藤真知子	元若草幼稚園教頭 山形県家庭教育アドバイザー
6	かなざわ かずこ 金澤 和子	(財)山形県生涯学習文化財団 山形県男女共同参画センター館長
7	くわじま せいいち 桑嶋 誠一	山形新聞社論説委員長
8	ごとう つねひろ 後藤 恒裕	山形県市町村教育委員会協議会教育長会会長 (山形市教育委員会教育長)
9	さとう 佐藤まりこ	山形県幼稚園教育研究協議会 (川西町立中郡幼稚園園長)
10	たみや まきこ 田宮真紀子	青年サークル「楽 i s m」代表
11	でがわ しんや 出川 真也	山形大学大学連携推進室准教授 (特)里の自然文化共育研究所専務理事
12	のぐち ひろみ 野口比呂美	特定非営利活動法人 「やまがた育児サークルランド」代表
13	はらだ ひでき 原田 英紀	山形県中学校長会 (山形市立第三中学校長)
14	はん だ ゆたか 半田 豊	新庄市社会教育委員
15	ますだ ただお 舂田 忠雄	山形大学地域教育文化学部名誉教授

山形県社会教育委員の会議のテーマ（過去10年間）

- 平成9～10年度 「学校週5日制を視野に入れた社会教育行政上の課題について」
- 平成11～12年度 テーマを設定せず、青少年教育施設のあり方や青少年育成の方策について、研究討議を行った。
- 平成13～14年度 「これからの青少年教育施設のあり方」
- 平成15年度 「第5次山形県教育振興計画」の策定に向けた「これからの社会教育行政のあり方について」
- 平成16～17年度 「これからの公民館のあり方」
- 平成18年度 特に設定せず
- 平成19年度 「山形県立青少年教育施設のあり方」
- 平成20～21年度 「社会全体の教育力向上に向けた学校・家庭・地域の連携のあり方」

7 統計資料等

(1) 山形県社会教育関係団体一覧

団 体 名	団 体 の 目 的	事 業 内 容
山形県社会教育連絡協議会 会長 未定 山形市松波 2-8-1 県教育庁生涯学習振興課内 TEL 023-630-2872	社会教育法に基づく社会教育委員・公民館の連絡提携を図り、住民のニーズが反映された社会教育のあり方を考究し、もって本県生涯学習の振興に寄与する。	①社会教育委員・公民館職員等の研修に関すること ②社会教育諸計画立案・公民館事業に関する調査研究 ③社会教育に関する情報や資料の収集、交換に関すること。
山形県子ども会育成連合会 会長 宮田 浩一 山形市緑町 1-9-30 新築西通り会館内 TEL 023-642-5315	子ども会の健全な育成と福祉の増資を図る。	①子ども会育成連合会相互の連絡と関係機関団体との連携調整 ②子ども会に関する調査研究、情報交換、資料の作成 ③子ども会指導者の養成と確保 ④子ども会活動の安全対策の普及充実 ⑤子どもたちの健全育成のための環境整備の推進
ボーイスカウト山形連盟 連盟長 吉村 美栄子 山形市旅籠町 2-5-12 山形メディアタワー内 TEL 023-633-7995	日本連盟の目的、基本及び諸規約並びにその方針に従い、地域内のこの運動を推進し、地区相互間並びに同様の目的を有する県連盟地域内の他の団体との間に友好関係を図る。	目的達成のための指導者養成並びにスカウトの開発運動
山形県婦人連盟 会長 丹 スワ子 山形市緑町 1-9-30 新築西通り会館内 TEL 023-622-0441	加盟団体の連携協調と育成発展を図り、婦人の地位を向上し、民主的な明るい社会の建設につとめ、生活を創造し社会の福祉を増進し、その結果を結集して文化の発展に寄与する。	①加盟団体との連絡並びに育成 ②加盟団体に対する情報及び資料の提供と機関紙発行 ③各種の他団体並びに県外及び全国婦人団体との連絡提携 ④理事会において決定する大会並びに運動及び事業 ⑤本連盟の所管する施設運営
山形県PTA連合会 会長 武田 岳彦 山形市緑町 1-9-30 新築西通り会館内 TEL 023-631-0055	県内各PTAとの連絡を密にして本県教育の振興と児童生徒の健全な成長を図る。	①児童生徒の健全育成事業の推進 ②各都市PTAとの連絡提携、及び活動推進 ③PTAに関する諸問題の調査、研究と広報活動 ④研修活動の助成 ⑤各県PTAとの交流 ⑥教育関係機関ならびに諸団体との連絡強化
山形県高等学校PTA連合会 会長 桂木 宣均 山形市緑町 1-9-30 新築西通り会館内 TEL 023-632-5731	県下公立高等学校のPTAの連絡を密にして教育の振興を図る。	①加盟PTAの助成並びに相互の連絡 ②教育に関する研究調査（健全育成、進路対策、調査広報、その他）並びに研修
山形県特別支援学校PTA連合会 会長 土田 幸一 鶴岡市大塚町 5-44 県立鶴岡養護学校内 TEL 0235-24-5995	県内PTAの連絡を密にして、障害児教育の振興に寄与する。	①単位PTA連絡提携及び活動促進 ②単位PTA相互の研修 ③単位PTA会長相互の連絡・研修 ④県教育委員会及び関係官庁に対する意見の具申 ⑤関係諸団体との連絡提携
山形県視聴覚ライブラリー協議会 会長 土谷 義幸 山形市松波 2-8-1 県教育庁生涯学習振興課内 TEL 023-630-2872	地区視聴覚ライブラリーの円滑なる運営に寄与し、本県視聴覚教育の振興発展を図る。	①地区視聴覚ライブラリー相互の連絡提携 ②地区視聴覚ライブラリー相互の教材資料の交換 ③地区視聴覚ライブラリー運営に関する調査研究
ガールスカウト日本連盟山形県支部 支部長 佐藤 敦子 山形市緑町 1-9-30 新築西通り会館内 TEL 023-625-7988	少女と若い女性が自らの可能性を最大限に伸ばしながら、どんなことでも挑戦できる自信を持ち、責任ある世界市民に育つことを目指す。	①指導者養成講座開催 ②指導者の研修 ③県内各団の交流 ④広報紙発行 ⑤組織拡充 ⑥関係諸団体との連携提携

(注)「団体の目的」及び「事業内容」は団体の規約等による

(2) 青少年教育施設一覧

No.	名 称	住 所	電 話	ファックス
1	山形県青年の家	〒994-0032 天童市小路1-7-8	023-654-4545	023-652-2007
2	山形県朝日少年自然の家	〒990-1101 大江町大字左沢字楯山2523-5	0237-62-4125	0237-62-4126
3	山形県金峰少年自然の家	〒997-0369 鶴岡市大字高坂字杉ヶ沢54-1	0235-24-2400	0235-25-5900
4	山形県金峰少年自然の家海浜自然の家	〒999-8531 遊佐町大字菅里字菅野229	0234-77-2166	0234-77-3725
5	山形県飯豊少年自然の家	〒999-0605 飯豊町大字添川字関山3535-33	0238-74-2331	0238-72-2342
6	山形県神室少年自然の家	〒999-5301 真室川町大字川の内字水上山3414-5	0233-62-2611	0233-62-2613
7	山形市少年自然の家	〒990-0361 山辺町大字畑谷字板橋3725	023-643-8533	023-643-8633
8	山形市児童文化センター	〒990-0826 山形市霞城町1-4	023-644-2352	023-644-9443
9	尾花沢市青年センター	〒999-4231 尾花沢市北町1-3-20	0237-23-2016	0237-23-3410
10	尾花沢市徳良湖青少年研修センター	〒999-4441 尾花沢市大字延沢3636-13	0237-22-0550	0237-22-0550
11	米沢市青年の家	〒992-0012 米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6926
12	米沢市児童会館	〒992-0052 米沢市丸の内1-3-47	0238-23-0161	0238-21-7494
13	鶴岡市青年センター	〒999-0035 鶴岡市馬場町11-61	0235-22-3103	0235-25-5100
14	鶴岡市海浜児童文化センター	〒999-7464 鶴岡市由良2-14-53	0235-73-2222	—
15	鶴岡市朝日青少年センター	〒997-0402 鶴岡市東岩本字野中146	0235-53-3302	—
16	鶴岡市大鳥自然の家	〒997-0622 鶴岡市大鳥字寿岡112	0235-55-2946	0235-55-2946
17	鶴岡市鼠ヶ関青少年海洋センター	〒999-7126 鶴岡市鼠ヶ関字原海150	0235-44-2112	0235-44-2112
18	大中島自然ふれあい館	〒999-6609 庄内町立谷沢字大谷1-3	0234-59-2225	0234-59-2225
19	遊佐町しらい自然館 (指定管理者:遊佐町観光開発公社)	〒999-8304 遊佐町大字白井新田字見晴野21	0234-72-2069	0234-72-2081

(3) 視聴覚センター・ライブラリー一覧

No.	名 称	所 在 地	電 話	ファックス
1	山形県視聴覚センター	〒994-0021 天童市大字山元天倉津2515 (山形県教育センター内)	023-654-2155	023-654-2159
2	東南村山地区視聴覚教育協議会	〒990-2484 山形市籠田一丁目2-23 (山形市西部公民館内)	023-645-1223	023-645-8330
3	西村山地区視聴覚教育協議会	〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西333 (寒河江市文化センター内)	0237-86-5111	0237-86-2201
4	北村山視聴覚教育センター	〒995-0035 村山市中央1-3-6	0237-55-4211	0237-55-4959
5	最上地区視聴覚ライブラリー	〒996-0079 新庄市千門町17-26 (最上広域教育研究センター内)	0233-22-1033	0233-22-1735
6	東南置賜地区視聴覚教育協議会 (東南置賜地区視聴覚ライブラリー)	〒992-0012 米沢市金池3-1-14 (米沢市視聴覚センター内)	0238-21-6111	0238-21-6020
7	西置賜地区視聴覚教育協議会 (西置賜地区視聴覚ライブラリー)	〒993-0041 長井市清水町1-25-1	0238-88-7677	0238-88-5678
8	庄内視聴覚教育協議会 (庄内視聴覚ライブラリー)	〒997-1301 三川町大字横山字袖東7-1 (庄内教育事務所内)	0235-68-1983	0235-68-3015
9	米沢市視聴覚センター	〒992-0012 米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6020
10	鶴岡市視聴覚センター	〒997-0046 鶴岡市みどり町22-36	0235-25-1050	0235-25-1052

(平成22年4月現在)

形態	設置者	所管	宿泊定員	キャンプ場定員	事業開始	建物総面積	敷地面積	No.
青年の家(宿泊型)	山形県	教育委員会	214		S42	3,687	9,342	1
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	200	S49	3,720	79,620	2
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	300	S51	3,940	79,092	3
少年自然の家	山形県	教育委員会	210	180	S46	3,818	143,236	4
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	300	S56	4,181	100,548	5
少年自然の家	山形県	教育委員会	200	300	S60	3,819	174,000	6
少年自然の家	山形市	教育委員会	224	640	S54	3,822	313,465	7
児童文化センター	山形市	教育委員会			S38	508	2,056	8
青年の家(非宿泊型)	尾花沢市	教育委員会			S43	632	750	9
その他	尾花沢市	商工観光課	40	100	S61	1,848	4,406	10
青年の家(宿泊型)	米沢市	教育委員会	60		S50	1,085	4,476	11
児童文化センター	米沢市	教育委員会			S58	1,716	4,638	12
青年の家(非宿泊型)	鶴岡市	教育委員会			S46	1,167	1,148	13
児童文化センター	鶴岡市	教育委員会			S39	495	907	14
青年の家(非宿泊型)	鶴岡市	教育委員会			S50	801	3,279	15
少年自然の家	鶴岡市	教育委員会	100	130	S61	1,618	9,662	16
その他	鶴岡市	教育委員会			H 2	441	713	17
その他	庄内町	教育委員会		50	H14	1,564	9,555	18
その他	遊佐町	教育委員会	67	120	H18	1,383	18,763	19

設置根拠	運営形態	教材保有数		教材貸出数(20年度実績)		講習会・研修会の回数		No.
		16ミリ映画	録画教材	16ミリ映画	録画教材	16ミリ映写	その他	
条例	単独	1005	1221	0	108			1
規約等	協議会	152	868	107	436	2		2
規約等	協議会	185	1486	120	799	1		3
条例	一部事務組合	574	4399	728	7,401	3	27	4
規則	一部事務組合	458	1306	127	79	3		5
規約等	協議会	427	587	0	535	2		6
規約等	協議会	138	650	70	456	2		7
規約等	協議会	428	583	108	462	2		8
条例	単独	727	3391	30	12,713	2	16	9
条例	単独	0	671	0	8	1	10	10

(4) 山形県内図書館一覧

番号	図書館名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
1	山形県立図書館	990-0041	山形市緑町1-2-36	023-631-2523	023-625-6520
2	山形市立図書館	990-0035	山形市小荷駄町7-12	023-624-0822	023-624-0823
3	上山市立図書館	999-3143	上山市二日町10-25	023-677-0850	023-677-0826
4	天童市立図書館	994-8510	天童市老野森1-2-1	023-654-2440	023-654-2990
5	寒河江市立図書館	991-0021	寒河江市中央1-7-14	0237-86-1662	0237-86-1663
6	河北町立中央図書館	999-3513	河北町谷地所岡3-1-10	0237-72-2906	0237-72-2966
7	西川町立図書館	990-0703	西川町大字間沢280	0237-74-3131	0237-74-3219
8	朝日町立図書館	990-1442	朝日町大字宮宿2265	0237-67-2118	0237-67-3375
9	村山市立図書館	995-0034	村山市楯岡五日町14-20	0237-55-2833	0237-55-7251
10	東根市さくらんぼ図書館	999-3716	東根市大字蟹沢1745-1	0237-41-1040	0237-41-1048
11	尾花沢市民図書館	999-4225	尾花沢市若葉町1-8-25	0237-22-3746	0237-24-0093
12	新庄市立図書館	996-0071	新庄市小田島町4-21	0233-22-2189	0233-23-6183
13	市立米沢図書館	992-0012	米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6020
14	南陽市立図書館	999-2211	南陽市赤湯791-1	0238-43-2219	0238-43-2340
15	高畠町立図書館	992-0351	高畠町大字高畠426	0238-52-4493	0238-52-4493
16	川西町立図書館	999-0121	川西町大字上小松1037-1	0238-46-3311	0238-46-3313
17	長井市立図書館	993-0004	長井市神明町3-7	0238-88-2535	0238-88-1051
18	白鷹町立図書館	992-0892	白鷹町大字荒砥甲833	0238-85-2111	0238-85-2183
19	鶴岡市立図書館	997-0036	鶴岡市家中新町14-7	0235-25-2525	0235-25-2526
20	庄内町立図書館	999-7781	庄内町余目字三人谷地59-1	0234-43-3039	0234-43-4762
21	酒田市立中央図書館	998-0034	酒田市中央西町2-59	0234-24-2996	0234-24-2980
22	遊佐町立図書館	999-8301	遊佐町遊佐字鶴田30-1	0234-72-5300	0234-72-5301

(5) 山形県内博物館一覧

① 博物館法で登録されたもの

番号	名 称	所 在 地	展 示	設 置 者	開館年月日	登録年月日
1	山形県立博物館	山形市霞城町1-8 TEL 023-645-1111	総合	山形県	昭和 46. 4. 1	昭和 46. 5. 27
2	掬粹巧芸館	川西町中小松2911 TEL 0238-42-3101	美術	財団法人 掬粹巧芸館	昭和 7. 4. 6	昭和 27. 3. 10
3	財団法人致道博物館	鶴岡市家中新町10-18 TEL 0235-22-1199	歴史	財団法人 致道博物館	昭和 25. 6. 14	昭和 27. 3. 10
4	稽照殿(上杉神社)	米沢市丸の内1-4-13 TEL 0238-22-3189	歴史	宗教法人 上杉神社	大正 12. 4. 1	昭和 27. 3. 10
5	蟹仙洞	上山市矢来4-6-8 TEL 023-672-0155	美術	財団法人 蟹仙洞	昭和 26. 9. 1	昭和 27. 3. 10
6	出羽三山歴史博物館	鶴岡市羽黒町手向羽黒山33 TEL 0235-62-2355	歴史	宗教法人 出羽三山神社	大正 4. 7. 1	昭和 27. 3. 10
7	財団法人山形美術館	山形市大手町1-63 TEL 023-622-3090	美術	財団法人 山形美術館	昭和 39. 8. 20	昭和 38. 12. 12
8	財団法人本間美術館	酒田市御成町7-7 TEL 0234-24-4311	美術	財団法人 本間美術館	昭和 22. 5. 13	昭和 40. 6. 24
9	米沢市上杉博物館	米沢市丸の内1-2-1 TEL 0238-26-8000	総合	米沢市	昭和 42. 6. 13	昭和 42. 6. 13
10	金峯山博物館	鶴岡市青龍寺字金峯1 TEL 0235-23-7863	総合	宗教法人 金峯神社	昭和 52. 5. 21	昭和 52. 9. 28
11	財団法人宮坂考古館	米沢市東1-2-24 TEL 0238-23-8530	歴史	財団法人 宮坂考古館	昭和 48. 3. 28	昭和 52. 11. 8
12	財団法人 齋藤茂吉記念館	上山市北町字弁天1421 TEL 023-672-4358	歴史	財団法人 齋藤茂吉記念館	昭和 43. 9. 1	昭和 60. 1. 18
13	財団法人 出羽桜美術館	天童市一日町1-4-1 TEL 023-654-5050	美術	財団法人 出羽桜美術館	昭和 63. 7. 15	平成 元. 6. 22
14	鶴岡アートフォーラム	鶴岡市馬場町13-3 TEL 0235-29-0260	美術	鶴岡市	平成 17. 8. 27	平成 19. 8. 27

② 博物館法で相当施設と指定されたもの

番号	名 称	所 在 地	展 示	設 置 者	開館年月日	登録年月日
1	山形大学附属博物館	山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4930	総合	山形大学	昭和 27. 4. 17	昭和 27. 4. 17
2	天童市美術館	天童市老野森1-2-2 TEL 023-654-6300	美術	天童市	平成 2. 10. 4	平成 13. 3. 15

(6)各市町村社会教育主管課一覧

(平成22年4月現在)

No.	市町村名	課(係)名	郵便番号	住 所	電 話	F A X
1	山形市	社会教育課	990-8540	山形市旅籠町2-3-25	023-641-1212	023-624-8443
2	上山市	生涯学習課	999-3192	上山市河崎1-1-10	023-672-1111	023-672-3001
3	天童市	生涯学習課	994-8510	天童市老野森1-1-1	023-654-1111	023-654-3355
4	山辺町	教育課	990-0392	山辺町緑ヶ丘5	023-667-1115	023-667-1116
5	中山町	教育課	990-0401	中山町大字長崎6010	023-662-2235	023-662-5440
6	寒河江市	生涯学習スポーツ振興課	991-0003	寒河江市大字西根字石川西333	0237-86-5111	0237-86-2201
7	河北町	生涯学習課	999-3511	河北町谷地字みどり町3-2	0237-71-1111	0237-71-1110
8	西川町	教育文化課	990-0703	西川町大字間沢280	0237-74-3131	0237-74-3219
9	朝日町	教育文化課	990-1442	朝日町大字宮宿2265	0237-67-2118	0237-67-3375
10	大江町	教育文化課	990-1163	大江町大字本郷丁373-1	0237-62-3666	0237-62-3667
11	村山市	生涯学習課	995-8666	村山市中央1-3-6	0237-55-2111	0237-55-2155
12	東根市	生涯学習課	999-3795	東根市中央1-1-1	0237-42-1111	0237-43-1176
13	尾花沢市	社会教育課	999-4225	尾花沢市若葉町1-4-27	0237-22-1111	0237-22-3034
14	大石田町	教育文化課	999-4111	大石田町大字大石田丁236-2	0237-35-2111	0237-35-2094
15	新庄市	生涯学習課	996-8501	新庄市沖の町10-37	0233-22-2111	0233-23-5600
16	金山町	教学課	999-5402	最上郡金山町金山662-1	0233-52-2902	0233-52-2903
17	最上町	教育文化課	999-6101	最上町大字向町644	0233-43-2111	0233-43-2345
18	舟形町	中央公民館	999-4601	舟形町舟形126	0233-32-2246	0233-32-3326
19	真室川町	教育課	999-5312	真室川町大字新町233-1	0233-62-2305	0233-62-2306
20	大蔵村	社会教育係	996-0212	大蔵村大字清水2602	0233-75-2323	0233-75-2336
21	鮭川村	教育課(生涯学習係)	999-5201	鮭川村大字京塚1324-2	0233-55-3051	0233-55-3053
22	戸沢村	共育課	999-6313	戸沢村大字名高1593-86	0233-72-2304	0233-72-2307
23	米沢市	社会教育課	992-0012	米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6926
24	南陽市	社会教育課	999-2211	南陽市赤湯791-1	0238-50-1140	0238-50-1140
25	高畠町	社会教育課	992-0392	高畠町大字高畠435	0238-52-4487	0238-52-5043
26	川西町	協働のまちづくり課	999-0121	川西町大字上小松1567	0238-42-6668	0238-42-2110
27	長井市	文化生涯学習課	993-0054	長井市清水町一丁目25-1	0238-84-7677	0238-88-5883
28	小国町	生涯学習担当	999-1352	小国町大字岩井沢704	0238-62-2141	0238-62-2143
29	白鷹町	生涯学習係	992-0892	白鷹町大字荒砥甲833	0238-85-2111	0238-85-2183
30	飯豊町	教育文化課	999-0696	飯豊町大字椿2888	0238-72-2111	0238-72-3827
31	鶴岡市	社会教育課	997-0346	鶴岡市上山添字文栄100	0235-57-4866	0235-57-4886
32	三川町	社会教育係	997-1301	三川町大字横山字西田52-1	0235-35-7040	0235-66-4508
33	庄内町	社会教育課社会教育係	999-6601	庄内町狩川字大釜22	0234-56-3320	0234-56-3222
34	酒田市	社会教育課	998-0034	酒田市中央西町2-59	0234-24-2991	0234-24-5780
35	遊佐町	教育課生涯学習係	999-8301	遊佐町遊佐字鶴田52-2	0234-72-2236	0234-71-1222

(7) 社会教育委員等設置状況一覧

(平成22年4月現在)

No.	市町村名	社会教育委員			公民館運営審議会委員 ()は社教委員兼務数			公民館 運営 審議会 設置数	図書館協議会 委員			社会教育主事			社会教育指導員		
		計	男	女	計	男	女		計	男	女	計	男	女	計	男	女
1	山形市	15	8	7					12	5	7	2	2				
2	上市市	13	9	4	13 (13)	9	4	1	8	5	3	1	1		3	1	2
3	天童市	15	10	5	193 (2)	155	38	13				1	1				
4	山辺町	10	8	2								2	2				
5	中山町	11	8	3											1		1
6	寒河江市	14	11	3	8 (3)	7	1	1	8	4	4	1	1		5	5	
7	河北町	11	6	5	38 (11)	23	15	4				2	2				
8	西川町	12	9	3	90	78	12	13				1	1				
9	朝日町	7	4	3	15	9	6	3				2	2				
10	大江町	10	7	3								1	1				
11	村山市	13	10	3	13 (13)	10	3	1	6	5	1	1		1			
12	東根市	15	9	6	90 (15)	75	15	8	10	4	6						
13	尾花沢市	16	11	5	16 (16)	11	5	1	10	6	4	2	2				
14	大石田町	12	10	2	12 (12)	10	2	1				1	1				
村山計		174	120	54	488 (59)	387	101	46	54	29	25	17	16	1	9	6	3
15	新庄市	10	7	3	14	12	2	2	5	2	3	2	2				
16	金山町	10	7	3	10 (10)	7	3	1				6	6		1	1	
17	最上町	10	7	3	10 (10)	7	3	1				1	1		2		2
18	舟形町	9	8	1	9 (9)	8	1	1									
19	真室川町	11	8	3	11 (11)	8	3	1				5	5		2	1	1
20	大蔵村	12	10	2	12 (12)	10	2	1				1	1		1		1
21	鮭川村	9	5	4	9 (9)	5	4	1				1	1		1	1	
22	戸沢村	6	4	2	6 (6)	4	2	1				2	2		2	1	1
最上計		77	56	21	81 (67)	61	20	9	5	2	3	18	18	0	9	4	5
23	米沢市	20	11	9	20 (20)	11	9	1	15	5	10	2	2		1	1	
24	南陽市	10	8	2	10 (10)	8	2	1	5	3	2	1	1				
25	高畠町	10	6	4	10 (10)	6	4	1	5	3	2	4	3	1	1		1
26	川西町	10	6	4					5	2	3	1	1				
27	長井市	12	9	3					8	3	5	7	5	2			
28	小国町	10	6	4	10 (10)	6	4	1				2	2				
29	白鷹町	10	6	4	10 (10)	6	4	1	10	5	5	2	2				
30	飯豊町	9	8	1													
置賜計		91	60	31	60 (60)	37	23	5	48	21	27	19	16	3	2	1	1
31	鶴岡市	20	16	4	80 (6)	60	20	6	12	9	3	4	4		3	2	1
32	三川町	15	11	4	15 (15)	12	3	1				1	1		3		3
33	庄内町	14	8	6					7	4	3	3	2	1			
34	酒田市	15	10	5	11	6	5	1	11	7	4	1		1	5		5
35	遊佐町	6	4	2	49 (1)	33	16	7	7	4	3				4	1	3
庄内計		70	49	21	155 (22)	111	44	15	37	24	13	9	7	2	15	3	12
合計		412	285	127	784 (74)	596	188	75	144	76	68	63	57	6	35	14	21

(8) 社会教育関係団体等一覧

(平成22年4月現在)

No.	関係団体	地域青少年 ボランティアサークル		子ども会育成会 (△は、一部組織・加盟等)			青年団		県婦人連盟 会員数
		サークル数	会員数	会数	市町村連合	県連加入	団員数	県連加入	
1	山形市	8	73	483	○	○			
2	上山市	1	11	50	○	○			
3	天童市	1	15	118	○	○			4,011
4	山辺町	1	13	60	○	○			
5	中山町	1	9	31	○	○			28
6	寒河江市	2	14	136	○	○			
7	河北町	2	7	101	○	○	22		
8	西川町	1	20	24					800
9	朝日町	2	14	39	○	○			742
10	大江町	2	21	47	○	○			210
11	村山市	1	※休止中	10	○				2,211
12	東根市	1	15	117	○	○			170
13	尾花沢市	1	14	62					243
14	大石田町	1	2	38					
村山計		25	228	1,316	11	10	22	0	8,415
15	新庄市	5	40						
16	金山町	1	12	31					600
17	最上町	1	10	39					
18	舟形町	1	10	26					
19	真室川町	1	8	71					
20	大蔵村	1	0						26
21	鮭川村	2	16	25	○	○			310
22	戸沢村	2	57	16					
最上計		14	153	208	1	1	0	0	936
23	米沢市	1	20	62	○	○			
24	南陽市	4	55	134	○		15		145
25	高畠町	3	96	111	○		10		
26	川西町	1	40	72			38		60
27	長井市	5	71	122	○	○			62
28	小国町	2	30	29					50
29	白鷹町	1	19	69	○	○			
30	飯豊町	1	6	49	○	○			40
置賜計		18	337	648	6	4	63	0	357
31	鶴岡市	5	70	411	△	△			2,344
32	三川町	1	20	28	○				
33	庄内町	4	11	109					190
34	酒田市	5	60	148	○	○			
35	遊佐町	2	25	79	○				1,192
庄内計		17	186	775	4	2	0	0	3,726
合計		74	904	2,947	22	17	85	0	13,434

(9) 社会教育施設等一覧

(平成22年4月現在)

No.	市町村名	公民館数			公民館職員数									公民館 利用者数 (21年度)	公民館 類似 施設 設置数	青少年 教育 施設	図書館 (図書室)	
		計	内 数			中 央			地 区			分 館						
			中央	地区	分館	館長	主事	その他	館長	主事	その他	館長	主事					その他
1	山形市	28		28					28	17	76				980,059	305	2	1
2	上山市	10	1	9		1	2	2	9	3	25				60,138	71		1
3	天童市	103	1	13	89				13	13	12	89	89		163,705			1
4	山辺町	10	1	6	3	1	2	3	6	3	6	3		3	128,817	29		(1)
5	中山町	2	1	1		1	8	2	1						27,911	24		(1)
6	寒河江市	65	1	4	60	1	0	4	4	0	8	60	60		124,791			1
7	河北町	85	1	4	80	1			3	3	6	80	80		117,320			1
8	西川町	14	1	13		1	1								35,783			1
9	朝日町	4	1	3		1	5	1	3	3	3				49,173	53		1
10	大江町	3	1	2		1		12	2		9				37,685	44		(1)
11	村山市	12	1	8	3	1			8	8	16				82,388	102		1
12	東根市	8	1	7		1	9	1	7		22				99,800	86		1
13	尾花沢市	73	1	5	67	1	3		5	5	5				96,670		1	1
14	大石田町	31	1		30	1	1	3				30	30	30	40,993			(1)
村山計		448	13	103	332	12	31	28	89	55	188	262	259	33	2,045,233	714	3	10(4)
15	新庄市	2		2					2		2				16,265	101		1
16	金山町	1	1			1									17,207	31		(1)
17	最上町	44	1	3	40	1	1	5	3			40			46,350			(1)
18	舟形町	1	1			1		4							13,635	25		(1)
19	真室川町	58	1	2	55	1		7	2			55			21,176			(1)
20	大蔵村	1	1			1	1	5							14,636	20		(1)
21	鮭川村	1	1			1	1	5							15,854	45		(1)
22	戸沢村	1	1			1	2	5							17,231	29		(1)
最上計		109	7	7	95	7	5	31	7	0	2	95	0	0	162,354	251		1(7)
23	米沢市	2	1	0	1	1		12				1			103,760	223	2	1
24	南陽市	9	1	8		1	1	6	8	16					137,881	81		1
25	高畠町	6	1	5		1	5		6	6	12				89,595	94		1
26	川西町	1	1			1									39,859	121		1
27	長井市	6		6					6	14					72,356	87		1
28	小国町	2		2		1									35,538	42		(1)
29	白鷹町	83	1	6	76	1	2	1	6	12		76		76	55,911			1
30	飯豊町	67		5	62				5	10		62			59,709			(1)
置賜計		176	5	32	139	6	8	19	31	58	12	139	0	76	594,609	648	2	6(2)
31	鶴岡市	20	1	19		1	7	0	19	36	2				413,200	363	5	1(分館5)
32	三川町	1	1			1	3	4							30,821	27		(1)
33	庄内町	9	1	8		1	4		8	21					124,038	92	1	1(分館1)
34	酒田市	1	1			1	0	12							148,936	492	—	1(6)
35	遊佐町	7		6	1	1	4	6	6		12	1		2	94,778	108	1	1
庄内計		38	4	33	1	5	18	22	33	57	14	1	0	2	811,773	1,082	7	4(7)
合 計		771	29	175	567	30	62	100	160	170	216	497	259	111	3,613,969	2,695	12	21(20)

(10) 生涯学習推進・学社連携組織等一覧

No.	市町村	生涯学習推進組織等 ()は設置年度 ※名称の市町村名は省略		
		行政関係者のみで構成	行政及び有識者等で構成	委員は行政以外で構成
1	山形市			
2	上山市	生涯学習推進本部(H11)		
3	天童市	地域づくり推進行政会議(H9)	地域づくり推進委員会(H12)	各地域づくり委員会(H9)
4	山辺町			
5	中山町			
6	寒河江市		生涯学習推進本部(H7)	
7	河北町			
8	西川町			
9	朝日町		(削除)	
10	大江町			
11	村山市			
12	東根市	生涯学習推進本部(H4)		生涯学習地区民会議(H4)
13	尾花沢市		生涯学習推進協議会(H3)	生涯学習地区推進会議(H3)
14	大石田町			
村山計				
15	新庄市			
16	金山町			
17	最上町		生涯学習のまちづくり推進本部(H2)	
18	舟形町			
19	真室川町	生涯学習基本構想推進本部(H18)	生涯学習基本構想策定委員会(H18)	生涯学習推進構想策定委員会(H18)
20	大蔵村			
21	鮭川村			
22	戸沢村	生涯学習推進連絡協議会(H5)	地域と学校づくり推進会議(H12)	戸沢村共育推進研究所(H15)
最上計				
23	米沢市	生涯学習総合推進研究委員会(H12)		鷹山大学運営委員会(H15)
24	南陽市	生涯学習推進本部(H12)		生涯学習推進委員会(H13)
25	高島町	生涯学習推進本部(H12)		生涯学習推進懇話会(H12)
26	川西町		生涯学習推進本部(H8)	
27	長井市	教委内生涯学習担当者会議(H11)		
28	小国町			
29	白鷹町	生涯学習推進本部(S52)		
30	飯豊町	生涯学習(社会教育)担当者会(H15)		
置賜計				
31	鶴岡市			
32	三川町	生涯学習推進本部(H10)		
33	庄内町			
34	酒田市			生涯学習推進市民協議会(H17)
35	遊佐町	生涯学習推進本部(H9)		
庄内計				
合計				

(平成22年4月現在)

生涯学習振興計画等 ()は作成年度	学校教育・社会教育の連携推進組織名	生涯学習・学社連携 校務分掌設置学校		No.
		小学校	中学校	
生涯学習基本構想(H5)				1
生涯学習基本方針(H15)		3	2	2
生涯学習推進基本構想(H8)	生涯学習推進委員会	12	4	3
社会教育事業計画書(H7)				4
社会教育事業計画書(H7)	幼保小中連携委員会	2	1	5
寒河江市教育振興計画 (H21)		11	3	6
河北町教育振興計画 (H18)		6	1	7
生涯学習計画(H7)	生涯学習推進本部会議			8
生涯学習計画(H14)	教育研究所	3	1	9
		4	1	10
生涯学習基本計画(H14)		8	2	11
生涯学習実施計画(H4)、生涯学習プログラム(H7)		0	0	12
	尾花沢市すこやかネット花笠推進協議会	11	5	13
	生涯学習主任会議	7	1	14
		67	21	
新庄市長期教育プラン (H17)	新庄市青少年市民育成会議	9	5	15
	学社融合推進委員会	4	1	16
	学社連携推進委員会	8	1	17
	学社連携推進委員会	4	1	18
生涯学習推進計画 (H18)	学社融合推進研究会	5	2	19
	学社融合推進委員会	1	1	20
生涯学習振興計画 (H17) 平成22年度生涯学習の重点(H22)	学社連携推進会議	4	1	21
戸沢村共育プラン(H13)	地域と学校づくり推進会議	4	2	22
		39	14	
生涯学習振興計画(H14)	米沢市小中学校生涯学習教諭 ・コミュニティセンター等主事合同研修会	18	8	23
生涯学習推進計画(H13)		8	3	24
第2次生涯学習推進基本計画(H16)				25
生涯学習推進計画(H12)	生涯学習担当者会	8	3	26
生涯学習中期振興計画 (H21)		6	2	27
生涯学習推進計画(H15)		6	4	28
生涯学習振興計画(H18)		6	2	29
		5	2	30
		57	24	
		40	11	31
生涯学習基本構想(H9)	学校・保育園・幼稚園・社会教育連絡会議	3	1	32
生涯学習推進基本計画 (H20.3策定)	教育研修所	5	2	33
生涯学習推進計画策定中(H20.2策定)		28	11	34
生涯学習基本構想・基本計画(H8)同後期計画(H14)	学社連絡協議会	6	1	35
		82	26	
		245	85	

8 文部科学大臣表彰一覧（過去10カ年）

年 度	優良公民館表彰	優良 PTA 表彰	社会教育功労者表彰	視聴覚教育功労者表彰
平成12年度	酒田市中平田公民館	南遊佐小（酒田市） 加茂水産高校	該当者なし	高津和郎（米沢市）
	図書館法施行50周年記念図書館関係者表彰 鈴木 睦子（県立図書館）			
平成13年度	三川町公民館 高島町糠野目 生涯学習センター	山形南小（山形市） 朝日中（朝日町）	岸 正 幸（河北町）	菅原貞男（米沢市）
	平成14年度	鮭川村中央公民館 酒田市十坂公民館	楯山小（山形市） 白鷹東中（白鷹町） 山形市立商業高等学校	今野理作（遊佐町）
子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 山形市立図書館 村山朗読会（村山市）				
平成15年度	長井市中央公民館	作谷沢小中（山辺町） 黒森小（酒田市） 小国高校	佐藤忠男（温海町） 村形朝男（天童市）	松田清男（村山市）
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 新庄市立図書館 どんぐりお話し会（南陽市）			
平成16年度	酒田市東平田公民館 川西町吉島地区公民館	山形八小（山形市） 八向中（新庄市） 鶴岡養護学校	該当者なし	太田邦夫（高島町）
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 川西町立図書館 図書館ボランティアかやのみ会（新庄市）			
平成17年度	酒田市広野公民館 米沢市田沢公民館	北辰小（新庄市） 山形八中（山形市） 山形南高	荒川喜一（戸沢村）	奥山幹夫（村山市）
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 河北町立中央図書館 図書館ボランティアあさの葉会（酒田市）			
平成18年度	天童市立高掬公民館 飯豊町中津川公民館	南原中（米沢市） 三瀬小（鶴岡市） 酒田北高	半田 豊（新庄市）	遠藤文子（上山市）
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 尾花沢市民図書館 ボランティアサークルスプーンの会（上山市）			
平成19年度	酒田市西荒瀬公民館	山形十小（山形市） 栄小（鶴岡市） 山形ゆきわり養護	松澤直太郎（真室川町） 青柳和夫（高島町）	菊地千代吉（寒河江市）
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 庄内町立図書館 おはなしサークル「きつねのボタン」（金山町）			
平成20年度	真室川町中央公民館 村山市袖崎地区公民館	本沢小（山形市） 萩野中（新庄市） 山形西高	新宮 隆（西川町）	中里 健（鶴岡市）
	子ども読書活動優秀実践図書館表彰 寒河江市立図書館			
平成21年度	南陽市赤湯公民館 鶴岡市朝日中央公民館	港南小（酒田市） 平枝小（真室川町） 山形東高	該当者なし	大類武敏（尾花沢市）
	子ども読書活動優秀実践図書館・団体（者）表彰 白鷹町立図書館 おはなし会きらきら（川西町）			